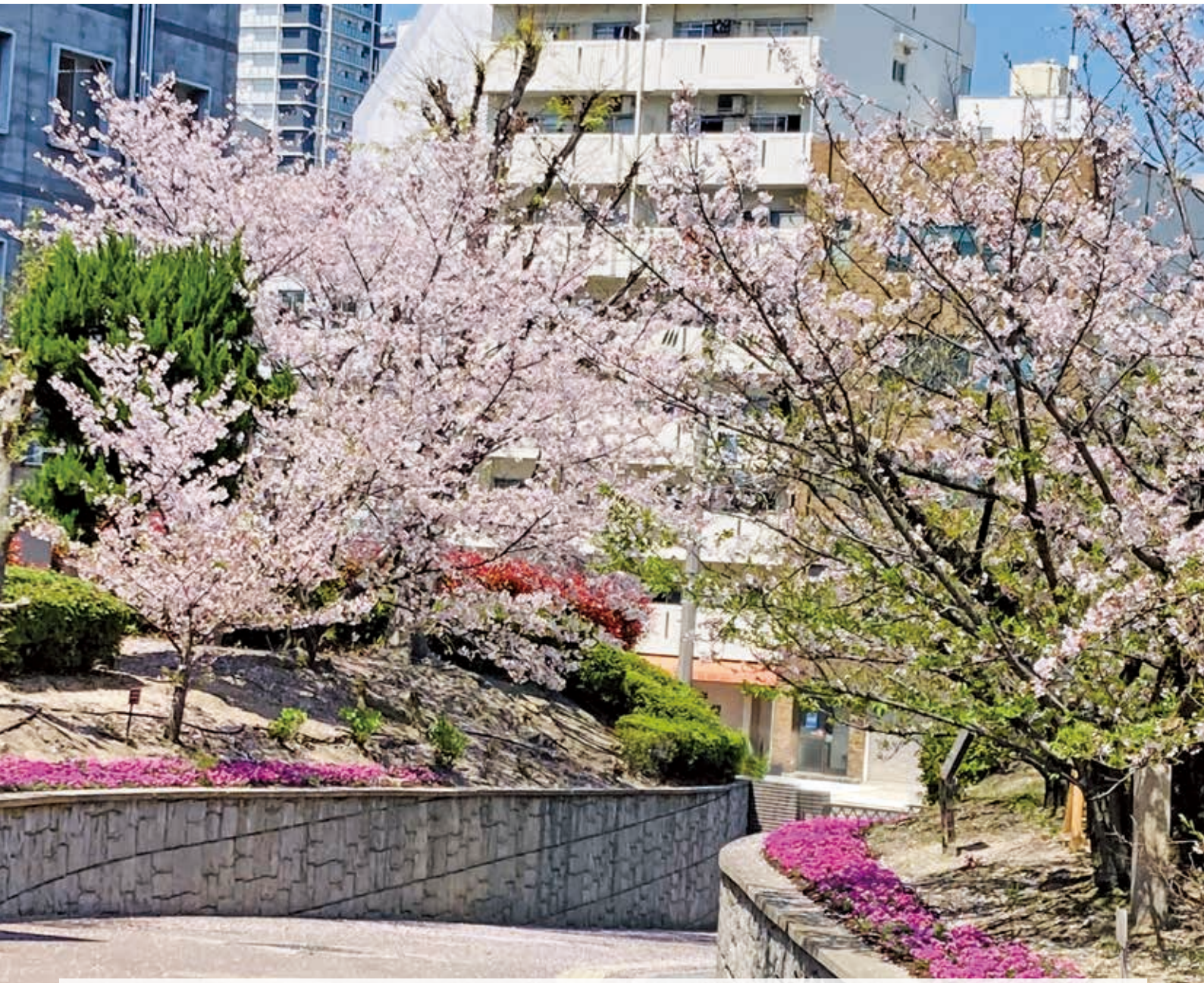
大阪府立清水谷高等女学校
大阪府立清水谷高等学校
同窓会会報

令和５年版

清友

発行日　令和５年９月20日
発行者　須藤　隆二
発行所　清　友　会
大阪市天王寺区清水谷町2-44
大阪府立清水谷高等学校内
TEL.06-6768-4159 FAX.06-6770-5015
https://dousoukai.site/seiyukai/
Eメール：seiyukai@carrot.ocn.ne.jp



会長挨拶 …… 2
校長挨拶・東京支部だより …… 3
120周年記念募金芳名録 …… 4・5
総会報告 …… 6・7
賛助金芳名録 …… 8
行事案内 …… 9
学校だより・合格体験記 …… 10
部活動の様子 …… 11
各界で活躍する卒業生 …… 12
恩師は今 …… 13
回生だより …… 14～17
クラブ代表会だより …… 18
清友のひろば …… 19
事務局からのお知らせ …… 20

桜が見守るこれからの清水谷

会　長　須　藤　隆　二（高34回）

平素は清友会の活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

正門前スロープの両側の前栽には、卒業や周年を記念して植えられた様々な木々が、生徒さん達を静かに見守っています。本年３月、当会会員様から寄贈頂いた桜の苗木３本、芝桜1,000株がその仲間に加わりました。桜といえば「ソメイヨシノ」が定番ですが、江戸時代に品種改良を重ねて造り出されたこの品種は比較的寿命が短いそうです。そのため、今回は数百年の年月にも絶える「神代曙（ジンダイアケボノ）」という品種を選びました。今はか細い苗木ですが、やがて力強い根をはり、枝を伸ばし、花咲き誇るとき、清水谷はどのような学校になっているのでしょうか。それはこれからの清水谷を形造る生徒さん達（未来の友）次第です。私達清友会は、その活躍を応援し、支えていける存在でありたいと思います。今後とも皆様のご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い致します。

〈創立120周年記念式典〉

令和４年10月20日（木）
大阪国際交流センターにて挙行

〈創立120周年記念祝賀会〉

令和４年11月５日（土）
シェラトン都ホテル大阪にて開催

ウィズコロナ、アフターコロナ時代の清水谷高校

校　長　**日　笠　　賢**

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、本年５月８日に２類相当から５類感染症へ指定替えになり、学校生活もコロナに翻弄された３年間から漸く抜け出そうとしています。

清友会の皆様には、コロナ期間中における様々な制約の中、創立120周年を迎えた母校に対して、記念事業による食堂の「ラーニング・カフェ」化の改装や、１年遅れで実施した記念式典と祝賀会の開催に、多大なご尽力とご支援を賜りましたことを心より御礼申し上げます。お蔭様で生徒が命名した「くすのキッチン」で昼休みに寛いだり、放課後には部活のミーティングや職員研修等に利用したりする姿が定着してきました。また、記念式典でご講演いただいた川西賢志郎さんの楽しく熱いメッセージは生徒の心奥に深く響いたでしょう。今後のウィズコロナやアフターコロナの時代においては、清友会の皆様にも、清水谷高校にお越しいただく機会を可能な限り増やしたいと考えています。

さて昨年度は、清水谷高校の制服について、性の多様性に関する時代の要請や生徒の要望等も踏まえ、従来のセーラー服と詰襟服に加えて、ジェンダーレスのブレザー型制服を選択肢に追加し、酷暑対策にポロシャツの制服も制定しました。昨年６月の清友会総会や11月の120周年記念祝賀会では、経緯等とともに伝統のセーラー服は必ず残すことをお話ししました。ブレザーの色はセーラー服と同色でスカートを共通にし、ボタンは詰襟服と共通の金ボタン、ネクタイやリボンは清水谷ブルーで統一し、ブレザーの襟には清水谷ブルーのラインが入り、男子も清水谷ブルーを着られるようになりました。胸につけるエンブレムは生徒が発案して清水谷高校伝統の２つの校章を組み合わせたものになっており、在校生が清水谷の伝統が大好きなことが良く分かりました。思えばセーラー服を制服にした1923年頃から丁度100年、新制になり男子が入った1948年から75年のタイミングでの制服の新たな選択肢の追加になりました。

新入生78期生は、女子の７割がセーラー服選択で、３割がブレザーを選びました。両方購入した生徒やパンツ（ズボン）を購入の生徒もいます。男子は９割がブレザーで詰襟は10名ほどです。２年生にもブレザー購入者がいます。

清水谷高校は創立123年目を迎えますが、誇りある歴史と伝統をしっかりと受け継ぎながら、『愛と恕』の精神の下、生徒が個性と多様性を尊びながら、共生社会で使命を果たして幸せな人生を歩むための教育を進めていきます。

清友会の皆様には、引き続き清水谷高校に温かいご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

東京支部だより（2023年）

東京支部長　**池　端　正　明**（高33回）

2022年度東京支部総会において、2011年度より12年間に渡り東京支部を牽引されてこられた、高22回吉田　順様から引き継いで８代目として選出いただき、今年度より東京支部長を務めさせていただきます、高33回池端です。

東京支部総会は新型コロナの影響で２年続きで休会とさせていただきましたが、2022年10月29日（土）に2019年までと同様大手町サンケイプラザにて、スペースの確保や、食事にも配慮することを会場側と十分な協議の上、３年ぶりに開催することができ、役員改選も承認議決されました。

2022年度の支部総会では、恒例のイベントとしています講演会として、「おっさんレンタル－セカンドライフを楽しく－」のテーマで、高23回荻野　潔様に講演いただき、充実したセカンドキャリアの生き生きとした過ごし方についてのお話があり、今後の参考とされた方も多かったのではと思います。

2023年度の支部総会は、新任幹事体制の元、2023年10月28日（土）13時～、昨年度と同様大手町サンケイプラザの３階会議場での開催を予定しております。

さらに、今年度のイベントとしては、高29回高山　博様から「我が母校、我が校歌、我が音楽」との演題でご講演いただく予定にしております。高山様は高校時代、軽音楽同好会の立上げに関わりバンド活動に精を出され、大阪芸術大学ご卒業後も一貫して音楽に携わってこられました。最近では、クラシックやジャズのみならずビートルズ関連の書籍ご執筆や、東京藝術大学などで講師として若手の育成に尽力されておられます。今回のご講演では、清水谷高校の校歌が如何に変化に富んだ名曲か、などのお話をいただけるとお聞きしております。

音楽に興味のある方はもちろん、校歌を歌った皆様、是非ご講演をお聞きになって校歌のすばらしさを再認識いただければと考えます。皆様お誘いあわせご参加いただければと思います。

最後に、大学や仕事で関東に来られている方も多くおられると思われますが、高48回生以降の方で東京支部にご登録いただいている同窓生が皆無に近くなっております、関東地区でお住まい、ご活動されている方は、清友会にご連絡のほどお願いいたします。これからの東京支部、清友会のご活用の機会を増やすためにも、皆様のご支援、ご協力を引き続きお願い申し上げます。

支部長	池端　正明（高33回）	副支部長	大藪　弘彦（高35回）
副支部長	中村　知司（高32回）	〃	四方　英蔵（高45回）
〃	船岳　康弘（高32回）	〃	吉田　征一（高45回）
〃	加藤久美子（高32回）	監査役	始関　尚子（高32回）
〃	今埜　薫（高32回）	〃	井之口　豊（高45回）
〃	藤田　正数（高33回）	相談役	吉田　順（高22回）

120周年記念募金芳名録

現教職員
浅井いづみ
松嶋　浩典

旧教職員
井上　建治
石井　淳二
石合　勲
石橋　都
石見　直美
上野　恵司
岡村　務
加登　錦
金山　満志
菊井　忠雄
日下部尚子
児玉　健郎
島﨑　英夫
田中　隆博
寳田　康彦
詫磨眞樹子
玉井　庄平
出水　幸男
冨田　言江
中根　将行
中村　一之
長井　豊治
長谷　岩友
橋本　卓爾
板東　正彦
福留　勝弘
藤瀬　淳
渕上　芳孝
真野　育子
美並　武嗣
水島　尚子
南　太一郎
南森　迪子
宮脇　裕
村上　万里
若井　勲夫
若林　智子

本11回
浅野　秀野

本22回
末広　弘子

本27回
西村知恵子

本32回
三宅　安子

本36回
竹田　多江
安田　豊子

本38回
大西　英子

本39回
安西　節子
安藤寿美子
高井　珠江
本多富久子

本40回
植村　幸子
長尾美代子
増田　和子
水野　頴子

本41回
是恒　綾子
澤田加津栄
中川　輝子
中山　久子
森田　允子
山内　静子
山元　泰子
若林　郁子

本42回
國澤　欣子
窪田美智子
城口多嘉子
鈴木ツユ子
田中　明子
藤高　雅子
松尾　千鶴

本43回
赤井美代子
宇野美奈子
片上　淑子
北川　良子
来馬　溢子
坂上　弥栄
榊原　悦子
玉井万里子
塚本　新子
那須　政子
中山　育枝
布谷　明子
松本美代子

本44回
池田喜久子
岩崎　正子
右近たい子
大田　史子
奥田美枝子
金森　信子
川村　鈴子
小林　和子
小林　理子
下坂　伸子
千田比奈子
田中　嘉
中家千代子
仲久保壽子
柳原　澄子
好川　栖子

本45回
石原　公子
大久保キミ代
大田　峰子
金原　京子
栗栖　敏子
斉藤千代子
田中とし子
平岩　良
別所　啓子
山口　恵子
湯本満寿美

本46回
今西　順子
今村　慶子
後宮　サチ
加納比那子
柏原　愛子
岸和田谷京子
南条　静緒
福西　滋子
細川佳代子
三富　富
御輿　直代
渡辺　桂子

本47回
西山加代子

高２回
赤川恵以子
新本　綾子
鹿嶋　重子
北村　貞子
佐々木淳子
阪本　光子
塩田　節子
辻　嘉壽子
中島　芳子
長谷川羊千
船越　啓子
森　政子
山田　勝子

高３回
阿部　晴子
青木　陽子
井田　幸子
飯田　弘一
石村　幸彦
上野喜美子
亀田　英明
川嶋　洋子
小松美代子
駒澤　栄子
白井　淳二
高田　舜介
丹下　斐惠
鄭　宅洙
中野嘉代子
鍋島弥栄子
林　成美
日野　邦子
藤原　通子
前田徹太郎
三宅　一郎
持田　実
山邊　澄子

高４回
池田　康子
加地　章
木下　晃太
木下　雅義
木村　一彦
阪口　昭子
高川　陽子
高川　静
竹久　友康
成瀬トシ子
平尾　昌子
福田和郁子
水谷　範子
村上　寛昭
森本　脩子
山尾　美子
和田　知子

高５回
伊藤　光武
今西　義紀
岩田賀津子
上中啓史郎
岡田　令子
梶原三和子
川上　繁幸
河野　純也
小山　和男
斉藤久美子
阪田　弘
作田　洋
澤田　淑江
重松　邦至
荘保　妙子
白井嘉世子
白石　怜子
武川恵美子
辻仲　君子
豊田ひとみ
中尾　義彰
中村　久子
西尾　俊子
沼田　浄子
浜田冨美恵
林　泰弘
廣島潤之助
福田　眞輔
福原　守邦
前葉　博子
政井委久子
松山　文夫
繭山　暢子
圓井謙三郎
宮崎　文雄
村上　雅子
安井多津子
山田　慧美
山脇　靖平
和田アイ子
和田ヲツチ

高６回
池田　朝子
石崎　嘉昭
岩本　次郎
潮　宏一
大竹　晟介
岡田　正
勝田　毅
神田　善弘
神田　こう
雉本多賀子
下辻　将夫
芝田　立子
田中　襄二
宝木　則子
津田源十郎
塚本由利子
中家　成子
中島　朝子
中村　陽子
鳩沢　勲
鳩沢　里子
平井　茂子
藤井　則彦
水野　勝康
南口　光彦
安江　貞夫
吉田　清子

高７回
日外　静子
浅見　和子
井上　庸
生悦住禎子
石崎　龍平
石田　素子
出水　晴子
岡本　恭子
押部　瑩子
貝塚　功子
川辺　勝
河野　弘子
橘田　義弘
窪田　桂子
後藤　基夫
齋藤　秋子
坂口　孝子
坂本　真司
阪井　信夫
酒井　重幸
鈴木　敬子
竹信　幸子
竹村　尚一
谷口　耕也
谷口久美子
寺野登志子
中辻　勝行
中野壽美子
中村　秀夫
中村　周子
中村喜久子
西　千代恵
西川　順子
檜原　康男
一二三邦枝
宮岡田津子
安井　良子
山岡　嘉男
山本真佐代
湯木佐知子
吉川　雅章
和田　安蔵

高８回
青井和志子
明石　幸子
伊藤　吉夫
池田　尭二
石原　進
今岡登茂子
宇野　隆子
岡島　史郎
奥田　秀夫
金子　節子
河野　幸正
木村　悦子
熊谷真理子
小梶　省三
繁田　幸
城山みどり
信田　律子
水津　光子
瀬田　治子
田中　康夫
竹井　静子
谷　蓉子
辻村　善夫
寺内　嘉一
中井佐和子
中島　敬吾
西尾　芳子
西村　勲夫
西山　毅
西山　迪子
日野多嘉子
細部　昭良
牧野　隆男
松尾　明子
松野　五郎
三原　茂子
森岡萬喜子
豊　育代
吉岡　武

高９回
池田満智子
出雲　慶子
今村佳津子
岡田　喜行
黒川万佐子
小林　武夫
佐藤加代子
阪口　昌子
阪口　和代
阪田　貞子
三﨑喜美子
志方　美子
田賀　律子
田中　文子
田中　晴子
高尾　郁子
武輪　儀一
谷　博之
寺西　和
中川　幸枝
西島　陽子
野村恵美子
野村　宜子
浜口　艶
平岡　重道
布田　幸子
福田　悦教
福武　京子
古田久美子
間宮　和子
松浦　廣一
宮内　博一
森田　勉
八木　徳子
矢中　靖倫
山田　絹子
吉田　精二

高10回
飯島貴志子
生駒　明子
池田基一郎
池田　昌弘
池田美栄子
今田　憲吾
岩田　三左
岩本　輝子
上田　和子
上山　伶子
小田　喜則
岡田あき子
岡本　和夫
奥井須美江
奥野　啓子
片山　隆
橘田　喜和
久慈　雅子
柑本　進
駒井マチ子
澤井　幸子
清水　義道
鹿野　博子
新谷　順一
竹中　清史
谷本　和繁
徳山満里子
豊島　桂次
中内　正與
中川　恵美
中島　汎仁
中村　俊子
中山　征彦
中山　隆司
中山世里子
西村　朝子
野口　哲世
則枝　征克
堀江　紀子
松井　良弘
松井　慶慎
松野　剛
丸井　栄子
美濃部洋一
水川　武
水谷富裟子
宮原紀久子
宗像　豊博
村田　明美
山本喜一郎
吉岡　道夫
吉本　淳子
米村　恭二

高11回
東　建策
植松　睦子
大西紀久子
北村　洋美
近藤　徹
坂田　勝治
柴田　久容
菅波　鈴枝
清家　良平
関　修子
田島　敏司
田中　修二
田保　勝治
谷　八重子
谷　千里
豊川　総雄
中井　節子
羽路嘉代子
日合　弘
福島　重紀
藤井みどり
松本　好生
松村美代子
元島恵美子
森竹　健
山崎　成子
山添　宏巳
和田　俊博
脇ノ谷英利

高12回
青山　英雄
浅野　英雄
蘆田　容子
石川　善夫
岩田　良子
大川　明子
大矢　正子
川口　眞子
川口　明子
菊地　鐵明
河野　伸彦
佐倉　良和
澤井　節子
杉野　利彦
田中麻紀子
高野　康子
竹内　修治
近野　勇治
仲栄　成行
仲川　正彦
野村　壽男
服部　敬子
林　光代
坂東　義一
東田　紀子
福井　憲司
藤岡　照
藤田　隆子
増田眞千子
松野　茂子
松原栄司郎
圓井　節子
宮武　郁子
山崎　圀晶
山西とも子
山本　隆
吉岡　靖子
路熊　駒三

高13回
青木　恒弘
青木　愃子
石原　洋子
石原　斌子
市川　保子
市口　祐子
今泉　正弘
岩垣加代子
奥田　和弘
奥谷　哲夫
奥野　紘子
笠井　嶋一
甲斐　信江
菊地　靖
北川　睦彦
北山　良
小山　泰正
佐藤　昭子
佐藤　玉起
佐藤恵巳子
田代万千子
田中　克彦
谷村比紗子
出口　彰
遠矢　太郎
新美　啓之
西　裕昭
西川　正雄
西田　光子
西村　欣子
花木　栄子
林　洋子
春田美登子
日置　英一
平岡　美子
布藤　里美
藤岡田鶴子
益田　照夫
由利　真哉
湯浅富士郎
吉永　洋輔
吉見　啓子
米田　茂子

高14回
赤松　毅人
有馬　淑子
井出　泰子
板倉　圭子
岩阪　泰宏
尾崎　秀子
大塚裕美子
沖　和子
金沢　弘子
川西　正機
木村　功
北野　公造
北脇五十雄
艸川　郁乃
黒田　和子
河見　忠雄
菰下万亀子
佐藤　明司
佐藤　賢
作　美代子
笹本　隆子
嶋岡　通子
田中　繁之
田中　郁子
高垣忠一郎
髙城　昌信
竹内　俊一
武田　義彦
中野　里美
西尾美智恵
西野　正昭
服部　芳子
馬場まさよ
布田　宗子
牧野宏治郎
松井　英樹
松浦佐登子
村田太一郎
山田　照子
山野美登子
吉田　一朋
吉田　朋史

高15回
青木　恭子
赤澤　眞樹
東　広
井出和津子
石川　寿子
石田　允
岩藤　邦明
小田登世子
岡田　歌子
岡村チズ子
荻野美智子
荻野　樹美
景山　浩道
金子美代子
神於　啓子
川口凌太郎
木本　忍
北田　孝
金　隆阜
小島喜代三
小林　道代
近藤　功
作田　壽子
定兼　悦子
椎塚はるひ
繁田賢太郎
末光　慶司
杉本　栄次
銭谷佐代子
谷風　三郎
津川　純子
辻本　正子
勅使河原直繁
勅使河原道子
遠矢美恵子
中尾とも子
中嶋　三恵
中嶋　明
中西　完治
中村　澄子
長井　正之
西村　郁子
橋本　孝子
日高　裕子
藤田十九子
文　隆昭
堀口　公子
前川　則男
増田美也子
松田　勉
峯松　万尚
柳沢　純子
山口　恭子
山中　重夫
山本　征二
山枡　恭子
渡部　泰憲

高16回
乾　弘子
今永　泰子
巌　真知子
植村　本
荻野　繁之
片桐　恒一
木村　盛茂
木村　政愛
菊地　常子
清水　泰子
柴　ハル子
白浜美智恵
田中　諄子
田原登志子
多武　冴美
立花　潤子
陳　ミネ
堤　淑子
中島　武徳
中根　昌孝
中村　清美
鍋島　亨
難波　照美
二宮　正幸
丹羽　久子
福田　和子
増田美智子
松岡　皖子
丸井　耿彦
目崎　五郎
柳　照美
薮下　弘一
湯浅　みき
吉田　高子
吉田　淳子

高17回
青木キヨエ
秋山　正己
浅井　千穂
磯辺　盈也
岩城　彰
小田　淳郎
大内　彦弘
片山　恭宏
川上　厚
北爪　英子
黒田　満夫
小林　久子
小山　暁子
芝原　明夫
杉本　未雄
角田　昭弘
武田　昌子
寺林　脩
中田美佐子
納富千佳子
北條　稔郎

高18回
荒木かず子
井上　俊子
伊藤　元規
市川　淑子
江畑　弘
岡崎　謙二
奥田　芳正
笠井　雅美
金森　賢三
河野　幸子
北谷　照雄
北野　恵三
久保　光彦
近藤　郁子
後藤　久夫
住谷はつゆ
外村　和枝
高尾　健一
高澤　信安
築山純美代
辻谷　茂和
寺崎　典子
内藤　和男
中村　方子
西岡　祖秀
野崎　五郎
能登　昌夫
馬場　睦子
稗田　祀夫
平林　勝司
藤井　範雄
松原　健一
松本　陽子
三木　完二
三宅　誠一
水口由紀子
八束　順子
矢間　久雄
山本美智子

高19回
赤野　一郎
生田　典子
今川　隆介
江畑　幸恵
小倉八代子
大西歌野子
菅　正子
木塚　信子
霧林　幸治
小林　一英
小林　由幸
児島由美子
山海　明夫
杉原　敏一
竹内　清美
谷崎　光子
津田万紀子
塚原　恭子
柘植佳津子
八十八騎幸子
中川　栄喜
服部　忠雄
林　一郎
広瀬　五郎
堀池　信雄
前田　隆司
桝　幸雄
松田潤二郎
向井　正明
村上　慎次
森口　二郎
安井　一枝
藪木　泰男
山野　裕子
吉田　隆夫
米山　隆祥
和田　忍

高20回
浅田　善嗣
伊藤　和子

伊藤　長範
池上　祥平
今津　典子
入江佐代子
尾原　朝晴
大城　佳子
大東　齢子
岡野三千代
音峰　泰博
加山　惠一
神谷　伸子
狩野　洋子
木田美智代
木村　隆英
久下　泰広
芝川　重博
澁川　洋子
城間　勤
田中　司朗
高村　正一
塚本　青史
辻井　正晴
寺尾美恵子
富原　美恵
中崎利枝子
南原　性哲
西口　忠
西村　隆治
橋本　隆子
藤井　和幸
三野十四三
宮本　雅行
山中　佳央
湯本　益美

高21回

井上　修一
生田　末治
池田　哲雄
石瀬　壽一
楳田　慎悟
荻原　英司
川﨑　泰英
川田由紀子
川辺美枝子
木内和三郎
木下　和明
絹谷　房代
久保　礼子
佐野　裕子
芝開ますみ
嶋田　耕作
田中　雅道
田淵　雄三
田村　豊子
髙野　季夫
高橋ひさえ
寺岡　徹
十山　惠
豊田　温順
中尾　隆光
西川　泰央
法岳　光徳
橋本　利昭
原口　典子
樋上　佳徳
本多　紀子
増井　高一
松尾　豊
萬代　和道
三宅　輝子
本井　啓治
山ノ井寛久
横山　良次

高22回

明石　晴子
厚見　彰子
伊藤惠美子
池田　祥子
石田　芳美
内山　淳子
梅本　宏彦
江島　寿子
小川　佳秀
大里　博武
岡本　啓子
岡村　章子
柄澤　玲子
川崎　裕子
河田　光一
黒松　健三
古賀　勝己
坂田　昌伸
塩見　祥介
鈴木　裕子
田中　秀興
竹内　幸代
俵　香子
辻本　信義
鳥井　敏孝
中田　和博
中田　雅久
中村　純造
中山　譲
中山　倫子
丹羽　裕子
野尻　周作
畑中成乃助
秦　康明
日根野文三
髭野　定芳
菱木　康夫
広瀬　安宏
峯林　孝明
宮口　義治
山田　秀夫
吉田　順
吉見　雅子
和田　雅夫

高23回

東　加寿好
東　節夫
荒川　嘉孝
板垣　伴之
今津　武治
岩島　節夫
宇野　朱美
小原　和子
大西　敏雄
岡田　俊二
香川　京子
海原　栄子
角田　靖子
金井　康雄
木村　高明
国友　陽子
小林　裕子
近藤あさ代
佐野美砂子
佐藤　徹亮
坂井　幸司
清水喜久子
須田　肇
田中　睦之
辰己　桂子
戸倉　涼子
鳥居　洋子
土橋　陽子
中島　裕子
永田　勇
二野　純一
畑　佐代子
福益千栄子
福益　慎治
二見　晃市
堀家　妙子
松井　浩子
向井　容子
村上知永子
山口　純子
吉井　信幸
良元　昌樹

高24回

赤松　薫
飯田　泰三
石塚はつ子
上村　修三
榎本千枝子
門田　和久
川端　嘉人
川俣　緑
河田　文秀
桐生由美子
黒河　満
小畑　芳樹
小林　陽子
小山　照彦
近藤　修造
提　玲子
澤田　伴子
鈴木多枝子
田中　佳子
田中美智子
田村　陽子
大明　正克
竹之下朋章
塚本　茂
鳥山　幸嗣
中西　修一
永井　誠一
西　裕美子
西川　充代
平須賀玲子
福原　雅子
山林　右二
山本　啓司
横山美智子

高25回

石井　利始
杉野美智子
杉本　和重
杉本　陽子
滝川千津子
竹内　和彦
武部　好伸
永浜　稔子
長井紀美江
鍋田三恵子
広田　正人
藤田　都
古川　雅一
山入端邦男
米田　茂夫

高26回

足立左知子
上田　具之
浦谷　一栄
江原　豊
小野　祐子
織田　隆弘
烏谷　治三
川田　哲嗣
木下　永吾
久木元　豊
頓名　弘明
中西　亨
野村　重之
松永三三子
松原　一典
矢野　孝司
湯本名美子
吉田　泰治
吉本　利夫

高27回

桐生　匡子
鈴木佳津子
田中　稔
田中友希子
當山　博志
中西　幹子
中山　勝実
野﨑　勝
野田　康子
林田　国彦
藤原由紀子
矢下　衣子
山下　佳子

高28回

荒木　慎一
井上千佳子
井澤　孝信
王　厚龍
北西　尚子
衣笠　恵子
杉本　清一
田辺幸次郎
竹中　治郎
出口　敏昭
富岡　律子
中川　幸重
中才　敏之
中才　弘美
橋谷　吉郎
羽田　崇子
坂東　猛久
坂東美由紀
藤川　賢明
村中　章良
八重川敏枝
横山祐次郎
吉田眞由美

高29回

浅井　裕美
飯田　稔
池田　房子
宇津井良彦
宇山　幸男
小原　千惠
小村　律子
木村　清隆
木村以都美
木村　知子
北野　泰宏
黒田　英美
甲田　裕隆
佐竹美地子
佐野　晴康
田中友輝子
竹田　和哉
谷掛　寿子
中西　勤
増村　正巳
松田　隆彦
松原とも子
松本　昊一
三島　淑美
山内　克則
山口　俊雄
山本　智子
吉村　佳美

高30回

安藤　博教
井上　淳
市場　昭子
岡田　英生
岡本　妙子
奥村　弘
奥村　智子
行田　幹子
菅生委久栄
高橋　武
瀧口　浩史
徳永　義幸
秦　敏久
平林　純子
平山　大澈
袋尻　典子
三河　純子
宮澤　幸子
山根　敏嗣

高31回

伊庭　哲也
内村ひとみ
江草　晴子
大垣賀津雄
大垣早代子
北村　正和
北村　豊美
佐々木　聡
澤田　淳子
菅原　幸枝
杉本　光司
高倉　浩司
中村佳世子
二野宮浩志
畑　公祥
藤田　武人
吉田　実
渡辺日出浩

高32回

尾崎　建之
角野　裕美
近藤　規子
始関　尚子
末兼　恵理
杉谷　圭子
田井　知絵
冨坂　恵子
富田　博人
中川　由紀
萩原　寿子
人見　信
峯　嘉隆
宮尾　宗央
横山　忠由

高33回

明石　敏江
伊丹　美紀
池端　正明
石井　博
緒方　朋子
奥山　伸子
清岡　秀吉
後藤　康久
坂本　幸子
阪田　眞司
迫田美基代
舘　和明
堤　和博
堤　眞也
中谷まさみ
中村優美子
東　ユミ子
東　浩和
山口　元美
山本　宣子
和田　千春

高34回

浅野　智子
伊庭　泰子
石田　康子
泉　利樹
岩野　隆志
上荷　匡洋
梅田　剛司
梅原　史朗
近江　伸郎
奥田　明子
奥野　佳景
金本　幸秀
狩野　寿江
川畠　康裕
川見　郁子
楠　充喜
黒田　充
清水　公一
須藤　隆二
杉山　寿一
武島　直子
谷本　成見
中塚友規子
中西　裕紀
西前　啓介
橋本　一志
原田二美代
松岡あゆみ
松村　博幸
宮村　尚子
八木　淳
山田　郁子
山本　功人
横畑有加里
吉田　恭二
芳本　美恵

高35回

浅野　太一
稲井　晶子
大薮　弘彦
金原　孝子
北野　勝也
茂山　勝龍
玉城　正
津崎　幾子
西植　公哉
西元　良江
野本　芳子
長谷川貴子
横路　貴美

高36回

裏山　晃生
大塚百合子
風間　斉
金岡　邦枝
栗林　匠子
小佐川　学
田中　克典
中嶋　謙治
中村　秀子
古川　吉彦
馬渕　雅之
箕輪美代子
村上　可枝
森脇　貴幸
山内　英子
分田　美子

高37回

稲垣　嘉憲
大野　ルミ
太田　浩子
岡田　裕久
岡田　豊
川西　宏和
柴田　昌典
長町みゆき
藤岡三千代
山口生美男

高38回

中阪　益之
永野　聡子
前野千佳子
彌園　弘美

高39回

宇佐美孝子
最所　美砂
坂元　善洋
梁井　秀樹

高40回

伊藤　聡子
植田　素行
小川日出子
大神亜紀子
大田隆一郎
岡橋　京子
沖村　志宏
梶川真理子
岸本　実
北島　智美
国則　佳代
小谷　寿治
田中　伸幸
田中　恵
立川　優
辻村　晃
手島明喜子
日比　幹夫
藤川　潤子
町野　稔
山本　尚美
芳本　康司

高41回

井上　学
池田　初美
江城　文隆
勝山　宏美
川畑　実
熊谷　洋
田中美佳子
仲野　智之
萩野　亮児
羽馬　竜也
播磨　善臣

高42回

喜多　秀典
小林　朋子
中村　俊博
西本　明生
藤井　里江
松葉久美子

高43回

井上　明彦
甲斐　裕子
久原　正仁
永石　宜子
古川　定子
山田明日香
吉開　秀勝

高44回

小西　秀和
佐久間　正

高45回

岡田　万由
谷口真由美

高46回

伊豆藏実穂子
家田　太郎
鹿嶋　丈子
榛木　竜
松岡　賢造
松本　智子

高47回

江畑　稚枝
箕浦　陽亮
森口千恵子

高48回

荒谷　美里
丹下　裕司

高49回

岡田美登利

高50回

小津奈々絵
金谷　幸江
坂口　周子
坂口　智幸
田部　葉子
橋本　正志
原田　旭
村井　博司

高51回

大草　善宣
大西　一弘
八田　禅
脇本　謙

高52回

東　隆志
笠原由希子
川口　真吾
田中　美香
沼田　友香
日高　直基

高53回

大北有佳利
倉田　忠宗
田中　啓喜
中澤　幹子

高54回

飯島亜希子
川西賢志郎
小林　久人
鳥居　陽太
中西　智広
西端　啓祐
廣島真理亜
藤原　菜穂
安井さつき

高55回

北池　絢子
坂井　瑞穂
寺内　安奈

高56回

門田健太郎
下門　佳奈
畑間　由加
藤谷　篤志
三宅　夏衣

高57回

佐藤　修一

高58回

安部奈緒美
阿部　良太
柴田　至

高59回

髙井　風人
髙田　雄
山﨑　静香

高60回

北田　恵慈
西山　晴菜
山中　数大

高61回

高山　帆洋
平山　菜月
南谷　知美

高62回

生田　裕親
辻村　彩永
中西　加純
益尾　雄大

高63回

磯野　萌子
今田　沙樹
楠　麗菜
鮫島　周平
進　瑛太郎

高64回

久保　貴大
島岡　智江

高65回

梶川　拓希
髙倉　麗

高66回

小山　明莉
堀　美希

高67回

久保　智大

高68回

駒勇　桃
宅間枝里子
光本　颯吾

高69回

相原　健吾
遠藤　路悠
中村　仁美

高70回

大西　真由

高71回

加藤　彩音
金原　裕理
中村　暢人
松井さやか
安田　匠吾

高72回

伊藤　愛美
小山　凜斉
清水　渓
美濃瑚真知

高73回

岩﨑　文那
熊谷　諒太
清家　彩来
田中　佑実
本郷　健人
松本　花恵
村上　智美
山本　怜花

◆団体

大阪府立清水谷高等学校
高27回生一同
高34回生一同
高校36期一同
21期生のつどい本多紀子
本科45回生は組一同

◆企業

スタジオワケダ

◆在校生

味岡　航平
油田ふう香
伊藤竜之介
市川佳陽子
今岡　愛菜
上枝　啓嗣
植田　百香
小貫　朝心
大平晋之亮
奥山　晴菜
角田　明香
梶谷ことみ
梶谷　亮平
金子沙瑛華
金沢　姫奈
兼田　桃恵
木下　行哉
黒瀬　悠希
小濵　英恵
佐藤　香織
志岐　幸恵
志佐　佳宏
渋谷　萌恵
鈴村　容常
田窪　紅里
田中　正一
高村　哉仁
辻　有香
栩野　亜美
冨田　典花
中根　千鶴
中牟田佳奈
永田かのん
難波　鈴
能美　楓
平田朱見子
布川　遥菜
福田　昌平
藤井ゆかり
藤村　瑞歩
堀　平人
松下　吏花
松本　弥季
三木　旬平
三宅　国彦
三輪　治智
水谷　奏太
水原佳世子
森田　勝三
安田　伊吹
柳本　悦美
山田　勝
陽川めぐみ
横内　明莉

◆保護者

荒木　雪江
伊藤　哲子
上村八重子
河智　文義
木津　実花
木ノ本慎一
佐藤恵美子
芝野　達泰
渋谷三恵子
新歩　忠明
タカムラカズヨ
田﨑　和美
檀原　一伸
久冨　明子
藤本都也子
箕浦　由佳
元木　秋雄
森下　宏基
ヤマシタノリカズ
山村　君子

◆その他

白川　伸一
竹内　厚
濵田　圭司
匿名　60名

120周年記念募金合計

現教職員	2名	20,000円
旧教職員	37名	605,000円
本　科	83名	3,286,000円
高　校	1,235名	22,853,586円
その他	87名	4,161,124円
匿　名	60名	585,000円

合計 1,504名 31,510,710円

令和５年７月31日現在

令和５年度　清友会総会・懇親会報告

清友会の総会と懇親会が、令和５年６月11日（日）に、大阪駅のホテルグランヴィア大阪にて開催された。総会は新入会員６名と委任状39名を含む116名の出席者があり、議事録署名人に山口元美理事と楠充喜理事が選任された。議案書に沿って昨年度の事業報告・決算報告・会計監査が報告され、全員一致で可決された。引き続き、令和５年度の事業計画（案）並びに収支予算（案）が提案され、これについても拍手多数にて承認された。また役員改選の件も須藤隆二（高34）会長以下提案された役員候補全員について全会一致で承認され、全ての議事が終了した。

引き続き、ご来賓７名を含む77名ご出席のもとで懇親会へと移り、開会の辞に続き、日笠賢学校長のご挨拶、中西修一元校長のご発声で乾杯と進められ、和やかな会食、懇談のひとときが始まった。今回は、120周年記念講演会にて講演された漫才師「和牛」の川西賢志郎さん（高54）テーマは『学生のみなさんにこれから大切にしてほしいこと』のDVDを上映した。

その後、新入会員６名が壇上にて自己紹介、高５回の先輩会員へ花束贈呈と続き、皆で声高らかに校歌を斉唱し、拍手喝采のうちに懇親会は閉会した。

令和４年度　事業報告

項　目	日時・内容	備　考
総会その他懇親会		
総会	令和４年６月12日（日）12時～　ホテルグランヴィア大阪	
総会懇親会	同上	
フェスタ清友	中止	コロナ禍のため
二十歳になったら清水谷	令和５年３月11日（土）15時～　ホテルバリタワー天王寺	
清友会フューチャー懇親会	中止	コロナ禍のため
新年互礼会	令和５年１月22日（日）12時30分～　ホテルグランヴィア大阪	
東京支部総会	令和４年10月29日（土）13時～　大手前サンケイプラザ	
東海支部総会	中止	コロナ禍のため
広報事業		
会報「清友」の発刊	令和４年９月	16,750部
WEBページの運営	適宜実施	
Facebook，LINEでの発信	適宜実施	
文化・スポーツ等交流事業		
各種講演会	令和５年１月22日（日）LGBTQ支援について 大阪市市民局理事（ダイバーシティ推進室） 山本功人氏（高34回）	
各種文化講座	適宜開催	
ゴルフ会	Ａ秋期 令和４年10月12日（水）第67回 伏尾GC 春期 令和５年４月12日（水）第68回 伏尾GC Ｂ春期 令和４年６月25日（土）第11回 花屋敷GC 秋期 エントリー少数のため会としては中止	Ａ＝平日開催 Ｂ＝休日開催
その他事業		
在校生教育支援事業	自習室（済美館２階）の開放等 学校案内パンフレット製作支援	
クラブ活動等奨励事業	該当なし	団体／個人の顕彰等
学年同窓会等支援事業	名簿、宛名シールの提供	
創立120周年記念事業	●令和４年10月20日（木）創立120周年記念式典 大阪国際交流センター ●令和４年11月５日（土）創立120周年記念祝賀会 シェラトン都ホテル大阪 ●120周年記念事業実行委員会（R4/5/28，10/8，R5/3/25） ●記念募金事業 ●ラーニングスタジオ改修工事 ●記念グッズ　随時販売	学校・PTAと 共同開催
各種会合		
理事会	R4/5/14，7/9，9/3，10/20，12/3，R5/2/4，4/8	
回生幹事会	R4/5/14	
クラブ代表会	開催なし	コロナ禍のため （議長空席）
合同会議	開催なし	コロナ禍のため

財　産　目　録

令和５年４月30日現在　　（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ．資産の部			
1　流動資産			
現金預金			
現金手許有高	33,780		
郵便振替口座	3,527,027		
普通預金　三菱ＵＦＪ　谷町	23,125,255		
普通預金　三菱ＵＦＪ　谷町	753,433		
普通預金　三井住友　難波	238,644		
未収入金	1,543,000		
流動資産合計		29,221,139	
資　産　合　計			29,221,139
Ⅱ．負債の部			
1　流動負債			
未払金	168,223		
仮受金	0		
流動負債合計		168,223	
負　債　合　計			168,223
正　味　財　産			29,052,916

監査報告書

清友会　会長　　須藤　隆二 殿

令和５年５月20日　　清友会　監事　須田　肇
監事　上村修三

私は令和４年５月１日から令和５年４月30日までの事業年度の業務執行状況、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに関係諸帳票、証拠書類について監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

正味財産増減計算書

（令和４年５月１日～令和５年４月30日）　　（単位：円）

科　目	当年度	前年度	増　減	備考
Ⅰ．一般正味財産増減の部				
1　経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 会費収入	2,858,000	2,290,000	568,000	
② 会合費収入	390,000	0	390,000	
③ 清水谷高校教育支援基金	46,000	88,000	△ 42,000	*1
④ 寄付金収入	122,500	0	122,500	
⑤ 総会費収入	310,300	0	310,300	
⑥ 新入会員会費収入	1,385,000	1,360,000	25,000	*2
⑦ 広告料収入	315,000	285,000	30,000	
⑧ 賛助金	2,373,000	1,917,169	455,831	
経常収益計	7,799,800	5,940,169	1,859,631	
(2) 経常費用				
① 事業費				
フェスタ清友	0	0	0	
二十歳になったら清水谷	179,670	0	179,670	
清友会フューチャー	0	0	0	
教育文化等振興援助費	0	0	0	
清水谷高校教育支援支出	198,880	150,260	48,620	*1
自習室管理費	0	0	0	
セミナー支出	0	0	0	
通信費	0	0	0	*3
会報発行費	2,623,480	2,697,602	△ 74,122	*3
② 支部活動費				
東京支部	490,000	490,000	0	
東海支部	70,000	70,000	0	
③ 管理費				
会合費	486,442	0	486,442	
総会費	435,523	0	435,523	
記念祝賀会招待費	90,000	0	90,000	*4
人件費	1,094,000	979,500	114,500	
水道光熱費	89,600	39,776	49,824	
消耗品費	37,161	20,318	16,843	
交通費	27,240	0	27,240	
通信費	251,282	225,062	26,220	
備品費	14,800	0	14,800	
システム関連費	194,150	110,000	84,150	
転退職員記念品料	0	0	0	
新入会員記念品料	277,000	272,000	5,000	
通勤費	71,200	108,960	△ 37,760	
修繕費	16,500	0	16,500	
支払手数料	326,075	(235,702)	(90,373)	*5,*6
事務費	178,929	135,606	43,323	*5
雑費	122,279	283,844	△ 161,565	*5
経常費用計	7,274,211	5,582,928	1,691,283	
当期経常増減額	525,589	357,241	168,348	
2　経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 雑収入	7,814	3,261	4,553	
② 受取利息	8	9	△ 1	
経常外収益計	7,822	3,270	4,552	
当期経常外増減額	7,822	3,270	4,552	
当期一般正味財産増減額	533,411	360,511	172,900	
一般正味財産期首残高	28,519,505	28,158,994	360,511	
一般正味財産期末残高	29,052,916	28,519,505	533,411	
Ⅱ．正味財産期末残高	29,052,916	28,519,505	533,411	

*1 清水谷高校支援基金残高　0円
*2 新入会員　277名分
*3 会報発行費は送付通信費を含む
*4 コロナ禍のために総会懇親会へ招待できなかった回生（３年分）の同窓会幹事を記念祝賀会に招待し、出席された９名の招待費
*5 当年度から科目に支払手数料を新設し、収納代行手数料、郵便振替手数料、振込手数料を計上
*6 前年度欄の（　　）内金額は、前年度に事務費、雑費に計上した支払手数料に相当する合計額
増減欄の（　　）内金額は、当年度における前年度からの増減額

貸　借　対　照　表

令和５年４月30日現在　　（単位：円）

科　目	当年度	前年度	増　減	備考
Ⅰ．資産の部				
1　流動資産				
現金預金	27,678,139	28,521,305	△ 843,166	
貯蔵品	0	0	0	
未収入金	1,543,000	0	1,543,000	*1
流動資産合計	29,221,139	28,521,305	699,834	
資　産　合　計	29,221,139	28,521,305	699,834	
Ⅱ．負債の部				
1　流動負債				
未払金	168,223	0	168,223	*2
仮受金	0	1,800	△ 1,800	
流動負債合計	168,223	1,800	166,423	
負　債　合　計	168,223	1,800	166,423	
Ⅲ．正味財産の部				
正味財産	29,052,916	28,519,505	533,411	
正味財産合計	29,052,916	28,519,505	533,411	
負債及び正味財産合計	29,221,139	28,521,305	699,834	

*1 会費ならびに賛助金の収納代行業者委託分。業者締日と当会入金日のズレにより未収入金となる（総会時入金済み）。
*2 上記*1に対応する収納代行業者への手数料の未払分。

令和５年度　事業計画

内　容	日時等	備　考
総会その他懇親会		
総会・懇親会	令和５年６月11日（日） 12時00分～（受付開始 11時00分）	ホテルグランヴィア大阪
フェスタ清友	令和５年10月１日（日）	
二十歳になったら清水谷	日程未定	
清友会フューチャー懇親会	日程未定	
新春の集い（新年互礼会）	令和６年１月21日（日）	ホテルグランヴィア大阪
東京支部総会	令和５年10月28日（土）	大手前サンケイプラザ
東海支部総会	開催しない	当面活動停止
広報事業		
会報「清友」の発刊	令和５年９月	16,000部程度
WEBページの運営	適宜	
Facebook, LINEでの発信	適宜	
文化・スポーツ等交流事業		
各種講演会	１、２回程度	
各種文化講座	適宜	
ゴルフ会	Ａグループ（平日開催）春秋２回 Ｂグループ（休日開催）春秋２回	
その他事業		
在校生教育支援事業	学校パンフレット製作支援等	
クラブ活動等奨励事業	成績優秀者、クラブの顕彰等	
学年同窓会等支援事業	名簿、宛名シールの提供等	
創立120周年記念事業	ラーニングスタジオ第２期工事（空調工事）および募金活動	
済美館資料室整備事業	什器備品の整備、資料の整理	
各種会合		
理事会	原則隔月	
回生幹事会	年１、２回程度	
クラブ代表会	年１、２回程度	
合同会議	未定	

※「日程未定」は、実施するが、日時・場所が未定なもの
※「未定」は、実施の有無、日程・場所が未定なもの
※「適宜」は、実施の有無、具体的内容が実施担当者に委ねられているもの
※いずれの行事・活動も、実施時の状況（コロナ禍、自然災害等）を踏まえて実施の有無、具体的内容が変更されうるものとします。

令和５年度　収支予算書

（令和５年５月１日～令和６年４月30日）　（単位：円）

１．収入の部 科目		予算額	参考 前年度決算	参考 前年度予算
会費収入	会費収入	3,000,000	2,858,000	3,000,000
	新入会員会費収入	1,400,000	1,385,000	1,400,000
賛助金	賛助金	2,500,000	2,373,000	2,500,000
清水谷高校教育支援基金	清水谷教育支援基金	200,000	46,000	300,000
会合費収入	総会・懇親会費	512,000	310,300	500,000
	その他会合費	500,000	390,000	700,000
寄付金収入	寄付金	100,000	122,500	10,000
広告料収入	広告料	350,000	315,000	350,000
経常外収入	雑収入等	0	7,822	0
当期収入合計（Ａ）		8,562,000	7,807,622	8,760,000
前期繰越収支差額		29,189,934		
収入合計（Ｂ）		37,751,934		

（単位：円）

２．支出の部 科目		予算額	参考 前年度決算	参考 前年度予算
事業費	総会・懇親会費	730,000	435,523	600,000
	その他会合費	600,000	486,442	700,000
	フェスタ清友	250,000	0	0
	二十歳になったら清水谷	180,000	179,670	150,000
	清友会フューチャー	20,000	0	20,000
	セミナー講師料等	60,000	0	60,000
	会報発行費	2,800,000	2,623,480	2,800,000
	在校生教育支援費	200,000	198,880	300,000
	新入会員記念品費	280,000	277,000	280,000
	クラブ活動等奨励費	30,000	0	0
	学年同窓会等支援費	30,000	0	0
	済美館資料室整備費	100,000	0	0
	転退職員記念品費	0	0	20,000
	記念祝賀会招待費※1	0	90,000	420,000
支部活動費	東京支部	490,000	490,000	490,000
	東海支部※2	0	70,000	70,000
管理費	人件費	1,100,000	1,094,000	1,000,000
	通勤費	80,000	71,200	120,000
	旅費交通費	30,000	27,240	30,000
	通信費	250,000	251,282	250,000
	水道光熱費	90,000	89,600	50,000
	事務費	180,000	178,929	350,000
	支払手数料※3	330,000	326,075	新設科目
	備品費	20,000	14,800	20,000
	消耗品費	50,000	37,161	50,000
	修繕費	30,000	16,500	30,000
	システム関連費	200,000	194,150	200,000
	慶弔費	0	0	0
	雑費	100,000	122,279	100,000
予備費	予備費	100,000	0	100,000
当期支出合計（Ｃ）		8,330,000	7,274,211	8,210,000
当期収支差額（Ａ－Ｃ）		232,000		
次期繰越収支差額（Ｂ－Ｃ）		29,421,934		

※１　コロナ禍のために総会懇親会へ招待できなかった回生（３年分）を記念祝賀会に招待した費用
※２　東海支部当面活動停止予定
※３　会費等収納代行手数料、振込手数料を計上する科目として新設

令和５年度「清友会」役員一覧表　【敬称略・回生順】

会長
須藤隆二（高34）

副会長
橋本一志（高34）
山口元美（高33）

理事
楠　充喜（高34）
川見郁子（高34）
中塚友規子（高34）
金原孝子（高35）
嘉田恭永（高39）
植田素行（高40）
田中伸幸（高40）
佐久間　正（高44）
岩田　徹（高50）
久保佑介（高54）
廣島真理亜（高54）

監事
上村修三（高24）
三浦弘成（高54）

回生幹事会議長
橋本一志（兼務）（高34）

クラブ代表会議長
選任中

顧問
板倉圭子（高14）

回生幹事
大中幸子（本41）
城口多嘉子（本42）
北川良子（本43）
生田紀久子（本44）
加納比那子（高２）
飯田弘一（高３）
木村一彦（高４）
久保洋子（高４）
澤田淑江（高５）
沼田浄子（高５）
安江貞夫（高６）
酒井重幸（高７）
吉岡　武（高８）
松尾明子（高８）
平岡重道（高９）
森田　勉（高９）
村田明美（高10）
吉岡道夫（高10）
森竹　健（高11）
杉野利彦（高12）
青山英雄（高12）
新美啓之（高13）
西田光子（高13）
三好国三郎（高14）
小川佳輝（高15）
川口凌太郎（高15）
中井正子（高16）
田中諄子（高16）
荻野繁之（高16）
大石啓子（高17）
黒田満夫（高17）
三木完二（高18）
鈴木晴美（高18）
矢間久雄（高18）
森口二郎（高19）
矢野　直（高19）
塩見一仁（高20）
湯本益美（高20）
川﨑泰英（高21）
熊　順一（高21）
中村純造（高22）
廣瀬安宏（高22）
小原和子（高23）
傳馬美弘（高23）
畑中康之（高24）
加藤正之（高25）
松澤敬二（高25）
野村重之（高26）
井上　晃（高27）
山下佳子（高27）
田中友希子（高27）
中才敏之（高28）
田中友輝子（高29）
小村律子（高29）
上迫由美子（高30）
塚本良一（高30）
大野昌彦（高31）
上善恒雄（高32）
曽根圭治（高33）
中谷まさみ（高33）
谷本成見（高34）
元井眞紀子（高34）
吉田恭二（高34）
横路貴美（高35）
中嶋謙治（高36）
分田美子（高36）
川西宏和（高37）
東　伸光（高38）
白石拓三（高39）
八木　滋（高40）
立川　優（高40）
戸倉信昭（高41）
井上雅之（高42）
森本さや子（高42）
木村芳浩（高43）
日樫篤実（高44）
髙橋るり子（高45）
前田功一（高45）
榛木　竜（高46）
這越愛子（高46）
三宅隆志（高47）
新　光世（高47）
笹田　淳（高48）
小島大亮（高49）
小津奈々絵（高50）
永田亜紀（高51）
川口真吾（高52）
阪田裕亮（高53）
高田直子（高53）
吉田加奈（高54）
辰巳知里（高55）
香坂基行（高55）
竹田理愛（高56）
江尻　章（高57）
野山和純（高57）
野坂悠乃（高58）
柏倉寛至（高59）
信賀哲和（高60）
荒木翔平（高61）
左子光晴（高62）
後藤未佳（高62）
宮岡裕輔（高63）
橋口莉奈（高63）
反橋　聖（高64）
矢部公美（高64）
渡邊　大（高65）
西岡万柚（高65）
川畑達寛（高66）
林　美輝（高66）
大塚壮真（高67）
大谷恵未（高67）
西田僚太郎（高68）
渡辺京佳（高68）
工藤進也（高69）
木村百花（高69）
木本建斗（高70）
山本莉緒（高70）
加藤　蓮（高71）
宮田遥夏（高71）
石田誠弥（高72）
亀田萌葉（高72）
杉浦大介（高73）
上東笑侑（高73）
田中陽也（高74）
西山紗世（高74）
道端皓史（高75）
野田彪我（高75）

東京支部　支部長
池端正明（高33）

東京支部　副支部長
中村知司（高32）
船岳康弘（高32）
加藤久美子（高32）
今埜　薫（高32）
藤田正数（高33）
大藪弘彦（高35）
四方英蔵（高45）
吉田征一（高45）

監査役
始関尚子（高32）
井之口　豊（高45）

相談役
吉田　順（高22）

新しく役員に就任された方々をご紹介します。

高39回　嘉田　恭永

高39回の嘉田（旧姓勝田）です。女子バスケ部に所属していました。

今春息子も清水谷を卒業し、PTAとして久しぶりに母校に通う日々を過ごしてきました。今後は清友会の理事として母校を盛り上げていけたらと思いますので、よろしくお願い致します。

高54回　三浦　弘成

この度監事に就任しました三浦と申します。ラグビー部OBです。現在は公認会計士・税理士として開業しています。清友会の監事として理事会の健全性と適正性の担保と清水谷高校のさらなる発展に尽力致します。よろしくお願い致します。

賛助金へのご協力ありがとうございました。

昨年度は387名、本年度は387名と多くの皆様からご芳志が寄せられました。誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。頂戴いたしました賛助金は、母校と清友会の発展のため、大切に活用させていただきます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

会長　須　藤　隆　二

令和４年度賛助金芳名録

本39回
本多富久子

本41回
箕浦　政子

本42回
城口多嘉子
藤高　雅子

本43回
赤井美代子
北川　良子
来馬　溢子
玉井万里子
布谷　明子

本44回
金森　信子
小林　理子
下坂　伸子

本47回
西山加代子

高２回
新本　綾子
佐々木淳子

高３回
飯田　弘一
岡本　　健
川勝　民雄
小松美代子
鈴木　淑子

高４回
木下　晃太
北村　峯子
高川　陽子
高川　　静
竹久　友康
向井千佳子
村田　方子

高５回
岩田賀津子
重松　邦至
辻仲　君子
西尾　俊子
廣島潤之助
松山　文夫
矢田部郁代

高６回
石崎　嘉昭
大竹　晟介
岡田　　正
神田　善弘
神田　こう
阪崎　高志
田中　襄二
中家　成子
藤井　則彦
水野　勝康
和田　敬子

高７回
河野　道雄
佐々木義郎
齋藤　秋子
阪井　信夫
谷口　耕也
安井　良子
山岡　嘉男
山本真佐代

高８回
明石　幸子
伊藤　吉夫
池田　尭二
岡島　史郎
織田　　勲
加藤　浩子
金子　節子
河野　幸正
繁田　　幸
竹井　静子
武上　昌子
中島　敬吾
西尾　芳子
細部　昭良
松野　五郎
三原　茂子
村上　清美
豊　　育代

高９回
出雲　慶子
今村佳津子
内山　一郎
あ左海　靖子
阪口　和代
三﨑喜美子
高尾　郁子
滝内　晶子
中井　紅弥
平岡　重道
間宮　和子
松川　映子
薮中美知子
吉田　精二

高10回
芦田　節雄
生駒　明子
今田　憲吾
岩田　三左
岩本　輝子
岡田あき子
奥野　啓子
片山　　隆
久慈　雅子
新谷　順一
谷本　和繁
野口　哲世
則枝　征克
平野湯起子
前川　寛子
美濃部洋一
水谷富裟子
村田　明美
森田　靖子
吉本　淳子
渡辺　宣昭

高11回
大西紀久子
岡部　和彦
近藤　　徹
敷地　宏一
谷　八重子
那須　純子
中井　節子
藤本　　隆
吉崎　文彦

高12回
青山　英雄
上野与司夫
馬着　幸子
大川　明子
川口　明子
菊地　鐵明
杉野　利彦
黒葛原知子
仲栄　成行
服部　敬子
林　　光代
増田眞千子
山西とも子

高13回
青木　恒弘
永楽　明子
奥谷　哲夫
亀井　　諭
亀井　宣子
喜多條裕重
北川　睦彦
佐藤　昭子
遠矢　太郎
中村　憲子
新美　啓之
西川　正雄
西田　光子
日置　英一
布藤　里美
湯浅富士郎

高14回
岩阪　泰宏
木下　芳子
黒田　和子
佐藤　明司
嶋岡　通子
永井　清之
西尾美智恵
松井　英樹
松浦佐登子
山田　照子
吉田　朋史

高15回
赤澤　眞樹
東　　広
小川　佳輝
岡田　歌子
岡村チズ子
荻野美智子
荻野　樹美
川口凌太郎
木本　　忍
小島喜代三
作田　壽子
遠矢美恵子
西野　　鋭
林　　温子
日高　裕子
増田美也子
光本　康子
楊井　啓雄
山本　征二
渡部　泰憲

高16回
植村　　本
田原登志子
立花　潤子
中井　正子
目崎　五郎

高17回
故　永来俊憲
片山　恭宏
黒田　満夫
小山　暁子
清水　浩一
中道　　香
保田　慶七

高18回
井上　俊子
江畑　　弘
笠井　雅美
北野　恵三
新川　皓介
外村　和枝
辻谷　茂和
内藤　和男
西村美喜子
馬場　睦子
松本　陽子
三木　完二
八束　順子
山本　聖江

高19回
生田　典子
大西歌野子
木塚　信子
小林　由幸
下前　寿孝
隅田　恵子
竹内　定夫
千葉　敏行
津田万紀子
寺野　裕樹
西尾多恵子
浜田　隆志
林　　一郎
前田　隆司
村上　慎次
森口　二郎
矢野　　直

高20回
伊藤　長範
今津　典子
加山　惠一
久下　泰広
芝川　重博
塚本　青史
橋本　隆子
藤井　和幸
藤原　恵子
湯本　益美

高21回
井上福三郎
生田　末治
池田　哲雄
川﨑　泰英
木下　和明
田淵　雄三
田村　豊子
高田　房江
十山　　惠
西村　清美
樋上　佳徳
松尾　　豊
三宅　輝子
宮崎　和代

高22回
伊藤惠美子
大里　博武
古賀　勝己
俵　　香子
鳥井　敏孝
中田　雅久
中村　純造
橋本　高明
峯林　孝明
柳沢　　和
和田　雅夫

高23回
東　雄二郎
荒川　嘉孝
小川　和子
大西　敏雄
香川　京子
小林　裕子
佐野美砂子
坂井　幸司
須田　　肇
田中　睦之
髙藤　桂子
天神　尚子
鳥居　洋子
土橋　陽子
永田　　勇
平林　典子
松井　浩子
水口　治彦
村上知永子
良元　昌樹

高24回
石塚はつ子
上村　修三
河田　文秀
河村　　茂
小林　陽子
近藤　修造
沢田　和夫
塚本　　茂
中西　修一

高25回
竹内　和彦
中井　和弘
藤田　　都

高26回
荒木　圭子
江原　　豊
小野　祐子
織田　隆弘
木下　永吾
堀川　　宏
政田　茂広
松永三三子
松原　一典
松本　恭一

高27回
小尾智恵子
菖蒲　広明
田中友希子
當山　博志
中井　厚子

高28回
井上　大続
竹中　俊子
竹中　治郎
出口　敏昭
中才　敏之
中才　弘美

高29回
浅井　裕美
小村　律子
甲田　裕隆
竹田　和哉
松原とも子
松本　昊一

高30回
岡本　妙子
奥村　智子
秦　　敏久
平山　大澈
松本　宏江

高31回
中村佳世子

高32回
冨坂　恵子

高33回
明石　敏江
清岡　秀吉
堤　　容子
中谷まさみ
松山　浩章

高34回
石田　康子
今井　　泉
梅田　剛司
近江　伸郎
川見　郁子
北川　広美
楠　　充喜
清水　公一
中塚友規子
仲宗根信成
西仲　一美
西前　啓介
橋本　一志
原田二美代
日野　史枝
平井　禎則
平井　理子
山田　郁子
山本　功人

高35回
大薮　弘彦
長谷川貴子
横路　貴美

高36回
石田　昭夫
石田　祥子
中嶋　謙治
古川　吉彦
村上　可枝
分田　美子

高37回
長町みゆき
山口生美男

高38回
中阪　益之

高39回
宇佐美孝子

高40回
植田　素行
藤川　潤子

高41回
仲野　智之

高42回
中村　俊博
松葉久美子

高43回
中谷　由紀

高44回
佐久間　正
西口　正美

高45回
谷口真由美

高46回
家田　太郎
榛木　　竜

高51回
八田　　禅

高53回
木田　賀文

高54回
飯島亜希子
廣島真理亜

高61回
平井　瞭世
平山　菜月

高72回
伊藤　愛美

高74回
源川　七偉
藤本　夕英

その他
匿名　10名

賛助金合計

本科	13名	76,000円
高校	364名	2,242,000円
匿名	10名	45,000円
合計	387名	2,363,000円

清友会行事のご案内

令和６年度　総会・懇親会

・令和６年６月16日(日)　12時 ～ 15時
・ホテルグランヴィア大阪
・会費　8,000円
　○お申込みは回生幹事または事務局へ

令和５年６月11日

新　春　の　集　い

・令和６年１月21日(日)　12時30分 ～ 15時
・ホテルグランヴィア大阪
・会費　10,000円

二十歳になったら清水谷

高74回(令和４年卒業)を対象に令和６年２月～３月頃の開催を予定しております。

高73回 二十歳になったら清水谷　令和５年３月開催

清友会フューチャー

母校 ・ 清友会の未来を楽しく語り合う新しいスタイルの交流会「清友会フューチャー」。令和６年２月頃の開催を予定しております。

ご寄付をいただきました

高31回　中村佳世子様	10,000円
高12回ご一同様	100,000円
高19回女子有志ご一同様	12,500円

厚く御礼申し上げます

～母校を飛翔させる～　教育支援基金にご協力を！

会長　須　藤　隆　二

清友会では母校の教育支援活動に取り組んでいます。
主な活動は、⑴中学生向けの清水谷高校PRパンフレット作製費用の助成、⑵在校生向け講演会の実施、⑶成績優秀なクラブ等への支援金交付、⑷済美館２階を自習室として開放、⑸学習機材の寄附などです。
こうした支援活動を実施するため平成23年より清水谷高校教育支援基金が創設され、多数の会員の皆様から総額300万円を超えるご寄附を頂き、平成30年度は⑸学習機材の寄附として全23教室にプロジェクター用スクリーンを寄贈させて頂きました。
今後も教育支援活動を継続し母校を飛翔させるために多数の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。
☆ご協力に際しては下記銀行口座にお振込みをお願い致します。お名前の前に回生をご入力の上お振込み下さい。

三菱UFJ銀行谷町支店　普通預金３５１０９３９　清友会　会長　須藤隆二

令和４年度教育支援基金芳名録

2022.5.1 ～ 2023.4.30

高26回
江　原　　豊

高33回
山　口　元　美

高34回
橋　本　一　志
中　塚　友規子
須　藤　隆　二
楠　　充　喜

高40回
植　田　素　行

高54回
廣　島　真理亜

合　計
46,000円

～協賛広告募集～

会報に掲載する協賛広告を募集しています。

・普通広告
タテ 7.5cm × ヨコ 9.5cm　**￥30,000**

・名刺広告
タテ 2.5cm × ヨコ 7.5cm　**￥5,000**

お申込みは事務局（06-6768-4159）へご連絡下さい。
※紙面の都合上、サイズが若干異なる場合があります。

広報委員会

須藤・大場法律事務所
SUDO&OBA LAW OFFICE

弁護士　須 藤 隆 二（高３４回）
平成４年大阪弁護士会登録

〒５３０－００４７
大阪市北区西天満１丁目８－９
ヴィークタワー OSAKA 2102
TEL:06-6312-1610 FAX:06-6312-1611
URL: http://www.solaw.jp
取扱分野、アクセスなどはHPをご覧下さい。

学校だより

「変わるもの」と「変わらないもの」

教頭　林　　拓　磨

清友会会員の皆様、いつも本校教育活動にご指導・ご支援いただき、誠にありがとうございます。教頭として２年めを迎え、昨年度１年間を振り返る中で、「教頭の仕事」の全体像が少しずつ見えて参りました。一言で言うならば、「多種多様」、学校に関するほとんど全ての情報が集まってきます。多くの教職員の方々と関わりながら、学校全体の業務に携われていることに非常にやりがいを感じております。

さて、令和５年度を迎えるにあたり、本校における変化の一つは、第３の制服を追加したことです。多様な生徒への対応の必要性を考え、この春入学した78期生より導入しました。真新しい制服に身を包んだ新入生たちが登校してきた初日、慣れ親しんだ光景とは異なる「新しい清水谷高校」の姿が目の前に広がりました。セーラー服と黒の学生服の中に、ブレザーが混ざり合う光景、今まで積み上げてきた歴史に新たなアクセントが加わり、違和感ではなく「融合」を感じました。あの日から半年程が経過しましたが、今や３タイプの制服は「調和」し、清水谷高校を形作っています。

これまで教育の歴史においても様々な変化がありました。戦後、いかに良い大学に入るかに重点が置かれた「詰め込み教育」、知識偏重からの脱却と自ら考える力に期待した「ゆとり教育」、紆余曲折を繰り返しながら至った３観点に基づく学習に向かう姿勢をも評価する現在の教育観、こうした大きな変化を幾度と経験する中でも、本校では変えることなく長く大切にしてきたものがあります。それは全人格的な教育です。

授業では、確かな知識・技能を身につけ、個別の知識・技能に新たな組み合わせを見つけ出し、今までにない知恵を生み出すことや表現力・感性を磨くことに力を入れています。他者と協働し、自分たちで創る学校行事にも取り組んでいます。スポーツや文化・芸術・科学といった多岐にわたる部活動にも取り組んでいます。３年間の教育活動の中で、様々な経験にもまれながら、身体も心も鍛えています。

時代の変化への対応がますます求められることを想像しながらも「譲ることのできない理念」を大切にし、これからも清水谷高校が生徒の成長の場であることを願っています。

75期生進路状況

１．進路分野

分野		男子		女子		合計	
大学	国立	11	76	13	175	24	251
	公立	6		10		16	
	私立	59		152		211	
短大		0		0		0	
専門		2		7		9	
公務員		0		1		1	
就職		0		0		0	
浪人		6		6		12	
その他		1		3		4	
合計		85		192		277	

２．国公立大学合格者数

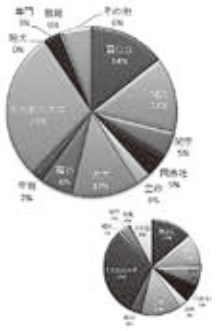
学校名	推薦	前期	中期	後期	合計
大阪大		2			2
大阪教育大	1	4			5
神戸大		1			1
京都教育大		1			1
奈良教育大		2			2
奈良女子大		2		1	3
和歌山大		3			3
筑波大	1				1
東京藝術大		1			1
横浜国立大		1			1
豊橋技術科学大		1			1
三重大		1			1
香川大		1			1
島根大				1	1
大阪公立大	1	8			9
神戸市外国語大		2			2
兵庫県立大		1		1	2
滋賀県立大		1			1
長岡造形大			1		1
公立小松大	1				1
合計	4	32	1	3	40

浪人生：神戸大１，奈良女子大１，
大阪公立大２，兵庫県立大１

３．主な私立大学の合格者数

	学校名	延べ合格者数		実合格者数		指定校		入学者数	
		今年	昨年	今年	昨年	今年	昨年	今年	昨年
関関同立	関西大	121	103	59	47	12	10	40	30
	関西学院大	59	38	21	24	3	5	13	18
	同志社大	21	29	17	20	8	6	13	17
	立命館大	28	21	15	12	0	1	8	8
	合計	229	191	112	103	23	22	74	73
産近甲龍	京都産業大		14	8	7	0	0	1	5
	近畿大	224	214	71	75	1	8	35	36
	甲南大		3	10	3	0	0	6	1
	龍谷大		82	36	26	0	0	17	11
	合計	224	313	125	111	1	8	59	53

４．進路先分野の割合



５．進路先一覧

	進路先	人数
大学	大阪大	2
	大阪教育大	5
	神戸大	1
	京都教育大	1
	奈良教育大	2
	奈良女子大	3
	和歌山大	3
	筑波大	1
	東京藝術大	1
	横浜国立大	1
	豊橋技術科学大	1
	三重大	1
	香川大	1
	島根大	1
	大阪公立大	9
	神戸市外国語大	2
	兵庫県立大	2
	滋賀県立大	1
	長岡造形大	1
	公立小松大	1
	関西大	40
	関西学院大	13
	同志社大	13
	立命館大	8

	進路先	人数
大学	京都産業大	1
	近畿大	35
	甲南大	6
	龍谷大	17
	大阪工業大	7
	摂南大	6
	大阪医科薬科大	5
	森ノ宮医療大	4
	大和大	4
	追手門学院大	3
	関西外国語大	2
	大阪経済大	2
	関西医科大	1
	大阪樟蔭女子大	1
	四條畷学園大	1
	大阪物療大	1
	四天王寺大	1
	大阪電気通信大	1
	大阪歯科大	1
	大阪学院大	1
	大阪芸術大	1
	同志社女子大	9
	京都女子大	4
	京都薬科大	1

	進路先	人数
大学	京都芸術大	1
	武庫川女子大	8
	神戸学院大	1
	神戸常盤大	1
	神戸女子大	1
	神戸薬科大	1
	甲南女子大	1
	大手前大	1
	畿央大	3
	北里大	1
	明治大	1
	創価大	1
	University Wollongong Australia	1
専門	大阪警察病院看護専門学校	1
	大阪病院附属看護専門学校	1
	ベルランド看護助産大学校	1
	関西医科専門学校	1
	高津理容美容専門学校	1
	HAL大阪	1
	ESPエンタテインメント大阪	2
	レコールバンタン	1
就職	国家公務員	1
その他	浪人	12
	不明	4
合計		277

合格体験記

佐　藤　匠　馬（高75回）東京藝術大学音楽学部声楽科

私と「声楽」の出会いは合唱部です。中学校で野球部員だった私は、合唱部の体験入部で運動部にない居心地の良さを感じ、ここでなら自分も活躍できると思い入部を決意しました。唯一の男子部員だった私は、定期演奏会のミュージカルなど独唱の機会に恵まれたことで、自分自身を楽器として技術や表現を磨いていく声楽に自ずと魅力を感じ、音楽の道に憧れを抱くようになりました。

３年生を目前に進路に迷走し辿り着いたのは「芸術大学」という新しい世界でした。初めて心から行きたいと思えた場所で、やっと自分の居場所に出会えた気がしました。将来への不安を捨て、どうしても音楽の道に進みたいと両親や顧問の先生に相談し、東京藝術大学の受験を決めました。しかし入試までわずか１年と、その道のりは大変険しいものでした。

私が東京藝術大学に合格できた要因は、最後まで諦めなかったことです。不安に襲われ何度も諦めそうになりましたが、他の道へ逃げても結局後悔すると思い、決して諦めませんでした。そして何よりも大きな要因は音楽への思いです。音楽と共に生きていきたいと思っていたからこそ、日々の練習が楽しいと感じられ、自信をもって受験に臨めたのだと思います。

入学から３ヶ月が経った今、優秀な仲間に囲まれ充実した毎日を過ごしています。私を音楽の世界へ導いてくれた合唱部、受験指導をしてくださった顧問の若松先生、受験期を支え応援してくれた両親への感謝を忘れず、清水谷で過ごした日々を胸に邁進していきたいと思います。

部活動の様子〈運動部〉

陸上競技
○第21回阪奈和高校対抗陸上競技大会
　女子 ４×100m・女子 ４×400m　出場
○日本グランプリシリーズ　木南記念
　女子 ４×100m　高校の部　14位
○インターハイ　中央大会
　（15種目14名出場）
　女子 三段跳　８位／11m03

サッカー
○令和５年度大阪高校春季サッカー大会
　３回戦進出
○NKリーグ2022　２部リーグ準優勝
○2022年度第１回大阪公立高校サッカー大会
　ベスト32
○第38回天理カップ　決勝トーナメント進出
○高円宮杯2023 OSAKA　４部中河内・南河内ブロック前期Ｃグループ４位

男子バレーボール
○大阪高校総体　１回戦敗退
○新人大会一次予選　２部昇格
○公立高校大会　予選敗退
○新人大会二次予選　２回戦敗退
○春季大会一次予選　３部降格
○春季大会二次予選　２回戦敗退
　現在、選手20名、マネージャー３名で、２部昇格を目指して頑張っています。

女子バレーボール
　６月に３年生が引退し現在部員（１，２年）14名で活動しています。新チームでの初の公式戦では東地区Ａゾーン２位となり賞状を頂きました。部別で１部を目指して部員一同頑張っています。

男子バドミントン
団体戦
○第16回大阪府公立高等学校バドミントン競技大会　団体戦　ベスト16
○第５回大阪市高等学校バドミントン大会　団体戦　ベスト８
個人戦
○第77回大阪高等学校総合体育大会（夏の大会）　ダブルスⅡ部　ベスト32
○第70回大阪高等学校バドミントン選手権大会（冬の大会）　ダブルスⅡ部　ベスト８
○第77回大阪高等学校春期バドミントン競技会（春の大会）
　シングルスⅡ部　ベスト32
○第16回第３学区大会
　シングルス　ベスト16　ダブルス　ベスト８
○第12回大阪府公立大会個人戦
　ダブルス　ベスト32

女子バドミントン
○旧３学区公立北地区大会
　シングルスⅡ部　１位
　ダブルスⅡ部　２位　３位
○第７回大阪府高校グリーンカップ
　ベスト８

男子硬式テニス
部員：３年10名、２年7名、１年10名
○第16回第３学区テニストーナメント
　（シングルス）予選第２ブロック優勝
○第16回第３学区テニストーナメント
　（団体）予選第６ブロック優勝
○第35回大阪高校スプリングテニストーナメント
　（シングルス）予選第48ブロック優勝
○第17回第３学区テニストーナメント
　（ダブルス）予選第６ブロック優勝

女子硬式テニス
○大阪高等学校秋季テニス大会
　１部団体の部　本戦出場
○大阪高等学校春季テニス大会
　団体の部　本戦出場

男子軟式テニス
　現在２年生１名ですが、女子軟式テニスやOBの方々と合同で練習の機会があるなど、技術向上等、充実した時間を過ごしています。

女子軟式テニス
○令和５年度大阪府高等学校春季個人戦
　４ブロック　ベスト８（１ペア）
○令和５年度大阪府高等学校春季団体戦
　中央大会出場
○第78回大阪高等学校総合体育大会
　４ブロック　ベスト８（１ペア）

ダンス
　今年度１年生が８名入部し、１・２年生合わせて22名で頑張って活動しています。
○第１回サマーダンスフェスタinあべの
　8/28出場
○あべのハルカスイベント
　10/29・11/23参加
○第14回大阪府高等学校芸術文化祭ダンス部門コンテスト　12/27出場

硬式野球
○第105回全国高等学校野球選手権記念大阪大会　清水谷２－９城東工科
　今年度は、１年生が10名（うちマネージャー２名）が入部し、単独で、秋季大会も出場することができます。
　応援よろしくお願いします。

水　泳
　１年生16名が入部し、現在31名で活動しています。近畿大会には惜しくも届きませんでしたが、中央大会には５名の選手が出場しました。各々が自己のベストタイムを更新できるよう日々練習に勤しんでいます。

男子バスケットボール
○第75回大阪高等学校バスケットボール選手権大会　出場
○大阪公立高等学校バスケットボール大会　出場
○第70回大阪高等学校バスケットボール新人大会　出場
○第78回大阪高等学校総合体育大会　２回戦

女子バスケットボール
○第75回大阪高等学校バスケットボール選手権大会
　１回戦　清水谷○94-49●緑風冠
　２回戦　清水谷○96-49●香ヶ丘リベルテ
　３回戦　清水谷●46-71○鳳
○第70回大阪高等学校バスケットボール新人大会
　１回戦　清水谷○60-50●大阪朝鮮高級
　２回戦　清水谷●35-64○八尾
○第78回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会
　１回戦　清水谷○80-34●プール学院
　２回戦　清水谷○56-50●東
　３回戦　清水谷○69-21●昇陽
　４回戦　清水谷●41-62○汎愛

剣　道
　３年生５名が６月に引退し、現在は２年生３名と１年生９名の12名で活動しています。剣道の主な大会は、５月末～６月初めにあるインターハイ予選と、11月にある大阪高校総体、１月下旬にある新人大会の３つです。団体戦での初戦突破を目標に、日々練習に励んでいます。応援よろしくお願いします！

ラグビー
　３年生２名（うち１名は女子選手）、２年生１名、１年生１名の４名で活動しています。毎週他校との練習試合や合同練習を行っています。
○第74回近畿高等学校ラグビー大会大阪府予選（出場）
○第78回大阪高等学校総合体育大会（出場）
○第102回全国高等学校ラグビーフットボール大会予選（出場）

卓　球
2022年度の戦績
男子
○専門部長杯　男子シングルス
　２位リーグ準優勝（77期１年）
○第５回特別普及大会　男子シングルス
　１位リーグ３位（77期１年）
○第５回特別普及大会　男子シングルス
　２位リーグ準優勝（76期２年）
○第７回特別普及大会　男子ダブルス
　４位リーグ優勝（76期２年ペア）
女子
○１年生大会女子
　女子シングルス　ベスト16（77期１年）
○第77回大阪高等学校総合体育大会
　女子学校対抗の部　ベスト16
○新人大会ダブルス
　女子ベスト32（77期１年ペア）
○フェニックス杯卓球大会
　女子学校対抗の部　Bリーグ　女子２位
○第８回特別普及大会　女子学校対抗の部
　３位リーグ準優勝（76期２年）
2023年度の戦績
男子
○大阪高校選手権大会　男子学校対抗の部
　ベスト64
○第２回インターハイ協賛大会
　男子シングルス　２位トーナメント
　３位（77期２年）
女子
○大阪高校選手権大会　女子ダブルスの部
　ベスト32（77期２年ペア）
○大阪高校選手権大会　女子学校対抗の部
　ベスト32春団体（76期２年、77期３年）

部活動の様子〈文化部〉

ギター
○第16回全国高等学校軽音フェスティバル
　（大阪城野外音楽堂）
○J:COMオータムフェス（ZeppNamba）
○第44回we are SNEAKER AGES
　「音楽を楽しむ」を合言葉に、部員一同日々練習に励んでいます！

書　道
○第43回大阪府芸文祭書道部門
　入選７名（内、奨励賞１名）
○第47回半紙コンクール
　大賞３名　連盟賞５名　優秀賞３名

華　道
　４月から新入生歓迎会、文化部発表会などの行事に取り組んできました。１年生を５人迎え入れ、新しいメンバーで生け花の心と技術を毎回のお稽古で身につけています。７月の練習では、一人ひとりが試行錯誤しながら、文化祭に向けて練習している様子が見られました。

美　術
○第73回高校展11名出品（内、奨励賞１名）
○第42回大阪府芸文祭奨励賞
　他にもブロック展等に出品、文化祭では部誌の発行も行いました。

囲碁・将棋
　遂に、この時が来ました。全国大会出場決定です！８月３・４と鹿児島の指宿で行われる全国高等学校総合文化祭将棋部門に大阪府代表として出場します。日本一になれるよう頑張りますので、応援よろしくお願い致します。

電子工学
　週に３回LAN教室で活動しています。
　学校紹介動画の作成、文化祭での自作ゲーム大会の開催、学校パンフレットの作成などコンピュータを使って様々なものを作成しています。

家庭科
　今年度は20名の部員が、自分たちで考えたレシピで調理や各自で作ってみたい手芸を楽しんでいます。文化祭では久しぶりの模擬店出店予定です。

合　唱
2022年８月～2023年７月
８月　第19回定期演奏会
　（於：東大阪市文化創造館）
　NHK全国学校音楽コンクール大阪府大会
　銅賞　（於：NHK大阪ホール）
　大阪府合唱コンクール　銀賞
　（於：貝塚市民文化会館コスモスシアター）
９月　オリックス×福岡ソフトバンク戦
　国歌斉唱（於：京セラドーム大阪）
10月　創立120周年式典 女学校歌・校歌斉唱
　（於：大阪国際交流センター）
11月　ウクライナ支援チャリティコンサート
　（プール学院中学校・高等学校　清心館）
12月　クリスマス・コンサート
　（於：阿倍野区民センター）
１月　大阪ヴォーカルアンサンブルコンテスト
　銅賞　（於：箕面市立メイプルホール）
２月　大阪府高等学校芸術文化祭
　（於：枚方市総合文化芸術センター）
５月　第20回定期演奏会
　（於：東大阪市文化創造館）
６月　大阪府合唱祭
　（於：大阪狭山市SAYAKAホール）

オーケストラ・アンサンブル
本年度の活動予定
○９月10日　大阪クラシック参加。大阪市庁舎前で演奏予定。
○11月18日　近畿総合文化祭三重大会。管弦楽部門大阪代表として参加予定。
○12月17日　てんのうじ吹奏楽フェスタ参加予定。
○12月末　題ブロック音楽会参加予定。
○12月末　東京での全国高等学校選抜オーケストラフェスタ参加予定。
○２月４日　大阪府高等学校芸術文化祭参加予定。

茶　道
　今年度は、３年生４名・２年生８名・１年生４名の16名で活動しています。今年の文化祭は、コロナ禍前の形態でのお茶会ができ、お客様にお茶とお菓子をお出しできるので、部員たちも楽しみに準備をしています。
　今年１月には、大阪府高等学校芸術文化連盟の学生茶会も復活し、本校の部員も客として参加しました。また、10月には大手前高校での研修会も予定されており、参加することにしています。今後もこのような学校外での活動をもっと広げていければと考えています。

競技かるた
　全国高等学校総合文化祭東京大会小倉百人一首かるた部門大阪府代表に１名選出され、出場。
　第31回大阪府高等学校かるた大会団体戦に、清水谷高校競技かるた部として準優勝を３年生８名で勝ち取り、全国大会に駒を進めることができた。

箏　曲
　箏曲部は毎週月曜日と金曜日に活動しています。OGの方に指導していただき、中庭発表や文化祭に向け日々練習に励み美しい音色を奏でています。

自然科学
　今年も学年関係なく元気に17名で活動しています。主な活動内容は
○プラナリアの飼育：プラナリアは綺麗な川に生息する切断しても再生する肉食の生き物です。
○夏休みに合宿：滋賀県田上山での鉱物採集、星空観察、昆虫採集、水棲生物の観察が目的です。
○文化祭：合宿の内容の展示や昆虫標本の展示、プラネタリウム、葉脈標本作り体験を行います。

ＥＳＳ
　毎週NETの先生と英会話の時間があり、文化祭でも毎年英語を使ったゲームを企画しています。楽しみながら実践的な英語力を身につけることを目標に活動しています。

社会の各方面でご活躍されている卒業生をご紹介。へぇ～こんな人いるんだ！

各界で活躍する卒業生

酒造りと人と運

高34回　伴（ばん）　光博（みつひろ）

白鶴酒造㈱執行役員 生産本部技師長
［丹波杜氏］　大阪大学工学部卒

酒を造るときの大切な要素としてよく挙げられるのは「米・水・人」の３つです。中でも「人」はとても重要です。いくら米や水が良くても人が良くなければおいしい酒はできません。人材育成が何よりも重要であることは他業界や異分野でも共通するものだと思います。

「米・水・人」以外にもう一つ大切な要素があります。「運」というものです。偶然の組み合わせで、思いがけず、とんでもない美酒が出来上がることが稀にあります。これは酒造りの神様からのご褒美のようなものだと思っています。

何度かそのようなご褒美をいただいた者として感ずることは「良い酒を造りたいという『誠実な想い』『強い願い』というものが幸運を引き寄せてくれるのでは」ということです。これもまた異分野においても、あるいは人生においても共通することではないでしょうか。

フランス音楽に魅せられて

高41回　菅尾（すがお）朋代（ともよ）

すがおピアノ教室主宰、
西宮市プレラホールフロントスタッフ
大阪音楽大学 音楽専攻科修了、パリ・エコールノルマル音楽院 教育課程ディプロマ取得
2007年イル・ド・フランス国際ピアノコンクール
スーペリュール部門第２位

高校卒業後、音大へ進み、フランス音楽のクリスタルのような透明な響きと色彩の美しさに夢中になりました。「パリでは耳や目だけでなく、肌でしっかり吸収してきなさい。30歳はひよっこ、40歳は半人前、50歳で一人前、60歳でやっと自分らしい音楽ができるようになる」留学が決まった時、ピアニスト松浦豊明先生からいただいた言葉です。

３年で帰る予定が、仕事をきっかけに20年近い在仏生活を送ることになり、この間多くの方々の励ましと助けに支えられ、2019年に帰国しました。

これからも謙虚におごらず音楽の勉強を続け、社会のお役に立つように努めることが、お世話になった方々への恩返しだと思っております。

以下は、現在の活動状況としてお伝えします。
今年の演奏会予定
10月15日（日）高槻音楽協会主催「定期演奏会」
10月29日（日）西宮市プレラホール「スタッフコンサートvol.3」
11月23日（祝）神戸フォーレ協会主催「フランス音楽への旅vol.13」
大阪市民管弦楽団の練習ピアニストとして今秋ラヴェルのピアノ協奏曲を担当する。
西宮市音楽協会会員、神戸フォーレ協会会員

講演について

高54回　川西　賢志郎

職業、芸人
最終学歴、大阪府立清水谷高等学校卒

昨年、清水谷120周年記念式典で講演をさせてもらった。高校時代、下から数えた方がはるかに早い成績しか取ったことがない僕が、母校に呼んでいただけて、在校生のみなさんへ向けて話をさせてもらえるなんて、ほんとに光栄なことだった。講演というものが初めてだったこともあり、何を話そうか？自分が熱を持って話せることはなにか？そもそも自分の話はみなさんの役に立つのか？悩んだあげく、僕は好き勝手にやってきた人間だから、好き勝手にやることの大切さと、それには責任が伴うということ、そして、みなさんに"自分"を見つめ直してもらいたいという話をした。なぜなら、好き勝手やるには自分をしっかり持ってなきゃできないから。今年の春、ありがたいことに僕の言葉が進路を決める指針になったという卒業生がいたと聞いて、すごく嬉しかった。講演を通して、僕自身がもう一度"自分"を見つめ直すきっかけになったし、新しい経験をさせてもらうことができた。今はそんな機会をくれた清水谷高校への感謝の気持ちしかない。いや、一抹の不安もある。その子の進路が芸人だったらどうしよう…

金属工事業
株式会社 アドバンス
代表取締役
西前啓介（高34回）
〒577-0065 大阪府東大阪市高井田中1丁目1番21号
TEL.06-6784-2403　FAX.06-6784-2404
E-mail:k-nishimae@advance-co.co.jp

恩師は今

連　山　　豊（物理科）

ワンゲル・山岳部顧問
昭和48年～平成４年

高校紛争を自主解決し落ち着きを取り戻した直後に赴任した私は19年間在職した清水谷高校が１番印象に残っています。

その一つはHRを中心とした学年の自主活動が活発なことが私の高校生活とよく似通っていたことです。そして生徒と教職員との信頼関係があったことです。

いろいろな行事がありました。１・２年のHR合宿（討論・登山・散策など）体育祭（ムカデ競走・看板など）１月祭（演劇・合唱など）等々。みなさんの各行事での奮闘ぶりが目に浮かびます。懐かしく思いだします。

この活動が仲間の“絆”を生み互いに成長を促したと思います。この“絆”が卒業後も育まれ“還暦”を超えてもクラスの仲間や学年のグループで交流し励まし合っているようです。

今年84歳になる私にもゴルフや飲み会などにお誘いがかかり本当にうれしい限りです。

これからも大いに交流を深めてください！清水谷高校万歳！

高　橋　正　雄（国語科）

男子ソフトボール部顧問
昭和55年～平成元年

平成31年、完全に引退しました。今は、時々孫と会う（ラインで話をする）のを楽しみにしながら、好きなことをして毎日を平穏に過ごしています。

好きなこと（１）読書。在職中かなりの書籍を買い漁り未読のものがたくさんあります。死ぬまでに一冊でも多く読みたいと思っているのですが、白内障と緑内障のため、読むスピードが落ち、思ったようにはなりません。

好きなこと（２）クラシック音楽の鑑賞。中学時代からクラシック音楽が好きでずっと聴き続けてきました。オーケストラ曲と声楽が中心だったのですが、数年前、40期の中川君のチェロを間近で聴いて以來、すっかり室内楽にハマっています。コロナ禍でおこもりの時は、CDで、室内楽三昧の毎日でした。

好きなこと（３）韓国語の勉強。10年ほど前から熱中しています。ただ、一向に上達しません。

赤　井　宏　之（国語科）

軟式野球部顧問
昭和59年～平成10年

23期の僕は、39期入学時に飯田先生の御退職に伴い母校に赴任した。クラブは新井先生の後任だった。教わった岡竹先生、岩崎先生と職員会議で席を並べた。とりわけ１、２年次の担任だった柳川先生とは39・40期を続けて受け持ち、心強いことであった。44期卒業後は47期図書委員達との活動や済美館から新校舎への蔵書移動が思い出深い。

齊藤さん、山村さん、大石さん、矢間さん、矢部さん、杉野さん、杉部さん、吉川君、久保君、八木君。先輩後輩とともに51期の２年次まで14年、生徒の頃も含めると17年清水谷にお世話になった。

転勤後15年、定年退職後10年「あの人は今」古希を過ぎ、京都の植物園が無料で入れると、喜んでいる。足腰達者なうちにと彼方此方を歩いている。庭木を剪定し、晴耕雨読。日々の営みの中で輝く瞬間に出会えば、生活詩を書いている。

辻　野　茂　樹（保健体育科）

硬式野球部顧問
平成11年４月～平成21年３月

清水谷高校での11年間、今振り返れば本当に全力で駆け抜けた年月であった。最初に取り組んだのが全校生徒の挨拶習慣、とにかくそこが気になり何がなんでも爽やかな学校にしたい、その一心で取り組んだ。まずは硬式野球部員の自覚と挨拶、そこからの出発であった。でもそこを変えることによって見違えるように変わった。皆さんに感謝しかない。野球部も強く応援されるチームへと変わった。現在は四條畷高校に勤務し14年がたった。同様の取り組みを行った結果、爽やかな学校へと進化していった。野球部員の礼儀、マナーの向上と共に強く応援されるチームへと成長した。昨年、定年を迎えたが今も再任用として勤務し、グランドに出てノックを打ちまくっている。お互いが真剣な部活動は生徒の人間的成長を促し、将来の大きな財産となる。この信念を変えずにこれからも努力したい。

「次は、食堂の冷房設置を！」

回生幹事会議長　高34回　橋　本　一　志

昨年、清友会の皆様、並びにPTA、学校関係者、多数の方々からの尊き浄財により食堂が改装され、「清水谷　ラーニングスタジオ」として多くの方々に利用されています。たくさんの喜びの声が届くとともに、卒業生、関係者の方々からも諸行事で利用したいとの希望が多く寄せられています。

この食堂改装は、120周年事業の一環として事業推進されましたが、この食堂改装をもって記念事業は終了した訳ではありません。

当初より、第二期事業として、冷房設備の設置が計画されており、この冷房設置により記念事業が完結となります。

技術面、学校施設等々を継続的に検討してきた結果、予算面で十分であるとは言い難い状況がありますが、冷房設置実現の可能性がより高まって参りました。

夏季期間の暑さは、年々厳しくなっています。ラーニングスタジオ、学びの空間には冷房設置が不可欠です。

「次は、食堂の冷房設置を!」

皆様方の熱い御支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。

回生だより

いづみ会を偲ぶ

本科43回　北　川　良　子

大阪府立清水谷高等女学校時代今から82年前の事は、良く頭に残り、昔の苦労が懐かしくなります。先生方も引率、共に働き進学する生徒の為に工場で帰れない時は、毛布にくるまって、夜中は、燈火管制（電燈の光を外に出さない）の中で勉強したものでした。日本の国は神の国、八紘一宇の精神で、神風が吹くと教えられる時代でした。今の人達が聞くと笑い話のようです。

今年は95才です。珍寿（ちんじゅ）と云います。珍の漢字の左側（おうへん）を分解すると「一」と「十」と「一」となり、右側を分解すると「八三」となることから「一」＋「十」＋「一」＋「八三」で「九十五」になることから珍寿として、お祝いする年です。

いづみ会の皆様、お元気でお暮らしの方々は、何かの趣味を持っていられると思います。

外出は、どうも一人ではと云われます方もお電話やメールで話せる方はお幸せでいらっしゃるでしょう。

コロナ禍も静まりつつあります。どうぞ目標を作って毎日を感謝でお過ごし下さいませ。

最後になりましたが、人生を全うされた方々に心から御冥福をお祈り申し上げます。

“すばらしい　友に捧げる　白菊の華”

最後の同窓会

高３回　飯　田　弘　一

高３回生行事として、最後の同窓会を令和４年10月11日梅田のホテルモントレで行った。実は同２年に米寿記念として最後を全うする予定であったが、コロナで遅れた次第で、今回は、最初で最後の方や約20年振りの方、東京から４名の参加等多彩であった。

それにしても、前回から３年の間に30数名の方が亡くなっており、黙とうで読み上げるのも涙声であった。

今回は、二次会を失くし、開宴時間を長くして歓談時間を長くしたが、今日の日はさようならを全員で合唱して大団円となったが、女性達の中には涙する方もあった。

令和４年10月11日＿清水谷高校　高３回同窓会
於　ホテルモントレ大阪

参考までに、記念写真とスナップ写真を１枚同封する。

高３回としては、サロンを従来から梅田で開いていた。コロナで再三中止となったが今後は偶数月の第２火曜日に開くこととした。唯一の高３回生の集いであり、多くの方の参加を待っている。

12月からは連続開いており徐々に参加が増えている。

米寿を迎えて

高５回学年幹事　沼　田　淨　子・澤　田　淑　江

高５回生　米寿の会

コロナ禍の為中断していた学年会を八十八歳の米寿を迎えるのを機に、昨年10月20日、ホテルグランヴィア大阪にて開催致しました。

一応この会を米寿を祝う会とし、毎年集っていた同期会の最後にすることと致しました。当日は横浜からご夫人同伴でご参加の髙田宏治さんはじめ19名、元気な同級生が集って下さいました。

この歳になりますまで脈々と続けてこられた学年会をふり返り、長い人生を元気に過ごせましたことに感謝し、残された時間を有意義に過ごせます様、そして何よりも清友会の益々のご発展を祈ってやみません。

清水谷と共に歩んだ人生

高５回　白　井　嘉世子

64年を共に暮らした夫を亡くし半年が過ぎても、まだ立ち直れない毎日です。主人は父親が満鉄勤務だったが故に、10年余りを満州で過ごし戦後身一つで帰国、苦難の連続の人生でした。引揚者に高津高校の入学はムリ、と役所で言い渡されるも反論、奮起して合格、間もなく学制改革により公立高校男女共学の一期生として清水谷に入学。学業に部活（バレー）に邁進、自身も国体出場、私達女子バレー部も指導してくれ、おかげで部別大会優勝、国体予選準優勝など好成績をあげることができました。その縁で結ばれ、以後数十回に及ぶ転勤による引越先で、夫婦でバレーを楽しみ、私は80才まで娘二人と同じコートで試合を楽しみました。結婚してバレーと共に生涯の道となったのが書であり、いつしか会社のトップとなった主人も、東京、大阪、パリまでも展覧会に同行、毎年開く社中展も２年前40周年を迎え、その時初めて入院中の為夫が不在でした。

いつも苦労を共にし支え合いながらも、そこには必ず書とバレーがありました。ゴルフ、スキー、ボーリング、ペタンク、お互い大好きなスポーツを子や孫と楽しんだことも忘れられません。苦学しても皆に優しく、何事にも懸命に生き抜いてきた夫の人生を誇りに思います。

高６回生だより

高6回　安　江　貞　夫

於　ホテルグランヴィア大阪

「米寿」を迎え、お互いにおめでとうございます。

先日（６月11日）の清友会総会に、岡田・石崎・伊藤・田中・安江の各氏５名が参加し、久しぶりの旧交を温めることが出来ました。特に鎌倉から遠路来阪してくれた伊藤君には感謝の念一杯でした。

今回の総会・懇親会は、３年振りのコロナ明けであったせいか本科の諸先輩が見えず１年先輩の高５回生が最上級だったのには驚かされ、同時に同窓会（清友会）での重責を痛感させられました。

考えてみれば近くに「卒寿」を迎える高齢者集団である私達です。お互いに助け合いネットワークを作り、維持し続けることが「生き甲斐」となるのではないでしょうか。

こんなことを考えながら頑張っております。

「友好の坂道」

高7回　河　野　道　雄

もう間もなく米寿を迎える清７回生が元気です。

平成25年（2013年）の喜寿の集いには90名、平成28年（2016年）の傘寿の集いには71名の参加を見るなど元気さを見せています。

ある書物によりますと、80歳台の心身の健康を保つには50～70歳台の生活状況が大いに影響してくるとの記述がありました。

清７回生の元気さの源は、毎年行ってくれている甲陽園丹羽邸における「忘年会」「桜を観る会」「星空を観る会」などの集いにあるのではと思っています。

甲陽園丹羽邸は阪急甲陽園駅を見下ろす高台にあり、急な坂道を20～30分歩き、階段を300段ほど登るところに位置しています。近頃の集いこそタクシーの相乗りなどでの参加が増えてきていますが、50～70歳台の頃は多くの友は歩いて登って集まり、（いまだに歩いて集まってくれている猛者もいます）乾いた喉をビールなどで潤し、ご馳走に舌づつみをうちながら歓談して友好を深めてきました。

無論、会場を提供してくれている丹羽氏、催しの企画・準備などの世話をずうーっと続けてくれている酒井、石崎氏のたゆまぬ尽力によることも忘れてはならないことであり、感謝の気持ちで一杯です。

この「友好の坂道」で培った気持ちと体力を糧に、近く行われる「米寿のつどい」などに皆元気で集まれる日を楽しみにして待ちたいと思っています。

令和５年（2023年）１月25日

追記、「清七の此頃」

高7回　酒　井　重　幸

コロナも終結に近づくなか、２月４日、“あじ彩”で久々の食事会、女子３名、男子８名と盛況でした。そして恒例の“桜を観る会”を今年も４月３日に開催することが出来、12名が参加、勿論、甲陽園の丹羽邸でした。

そして、この年になると悲報はやむなしとはいえ、あまりにも唐突で唖然とした石崎君の死の知らせ！同時に家族葬の連絡が息子さんからありました。

彼は長い間清七の活動の先頭に立ち、回生代表として引張ってくれました。通夜、葬儀には17名が最後のお見送りをしました。“清七”の供花も一層悲しいものでした。“合掌”！

（第2部）は、在学3年間の思い出から綴ってみたいと思います。

高9回　森　田　　勉

※１年生（昭和29年）

今では当たり前だが、当時では珍しい唯一の「五日制高校」でありました。担任の朝田先生から「後期の自治会に立候補しなさい」と言われ、福井さんと私が当選してしまった。先ず大きな課題は、体育祭を「色別」か「学年別」にするかで二分し、夜遅くまで激論、結果「学年別」に決す。出前のうどんを頂き、タクシーで自宅まで送って頂いた。体育祭のファイアーストームは初めての経験で、先輩の作ってくれた暖かい飴湯は、今も思い出しても涙が出る。

文化祭は岡本綺堂の「修善寺物語」を演出し、私も源頼家役で出演した。

※２年生（昭和30年）

学校としても初めての男子組（Ｅ組）が誕生し、三富先生が担任をされた。

この組には山本君や小寺君らがおり、それぞれの個性を伸ばす機会を得た。

体育祭は１年生に負けたが、文化祭はシェイクスピアの「真夏の夜の夢」で一風変わった舞台背景で観客を驚かした。私はオベロン王を演じ、主役のパックや妖精たちと楽しんだ。パック役の芦田さんは大阪女子大から電通に進み、女性で初めての定年を迎えられた。また、妖精役の小柴さんらの肌もあらわの衣装に、当時17歳の私には非常なショックでもあり興奮もした。

※３年生（昭和31年）

清水谷の歴史上にも特筆されるべき一つとも言える硬式野球部の大阪大会での準優勝である。今日は中百舌鳥、明日は藤井寺、そして日生球場へとアレヨアレヨと決勝戦。相手は当時は野球学校とも言われた「浪商」である。１回表から三塁打で先制のチャンス。私たちは「甲子園だ」と用意していた紙吹雪を撒き夢を見た。結果はヒット７本で０点、一方浪商はヒット２本で２点で惜敗す。

毎回試合終了後、全員で持参したホウキとちり取りでスタンドを掃除し帰る。

従って、表彰式に「優秀応援団」として特別賞を受ける。学校へ

自衛隊大阪地方協力本部　高 50 回 広報官　岩田　徹 携帯 070-6591-1101 梅田募集案内所（大阪市北区芝田 2-1-21）	高 22 回　伊藤 恵美子	㈱スマイルウィル　高 24 回 取締役　石塚はつ子 Tel 06-6971-8526 ㈹ 大阪市東成区中道 2-4-15
一文字厨器株式会社　高 23 回 会長　田中睦之 Tel 06-6633-9393 大阪市中央区難波千日前 14-8	㈱永田化学工業所　高 23 回 代表取締役　永田　勇 Tel 072-943-8330 八尾市垣内１丁目 110 番地	たる出版㈱　高 24 回 特別編集委員　上村修三 Tel 090-1672-2607 大阪市中央区南久宝寺町 4-5-11-301

帰ってからは、体育館の下にあった食堂で、PTAの山本会長の音頭で、オレンジジュースで乾杯し解散式をした。我々応援団は、上二の食堂の離れを借り解団式をした。

５人の応援団は、翌日から下呂温泉へ慰労旅行に発つ。その間、飲酒があったとの密告があり、私が罰を受けることとなった。清田先生以下８名の先生にはいろいろとご迷惑をおかけした。その応援団の連中も、今は吉田君だけとなり、会計の米田君も逝き、寂しい限りである。後日談は、沢山とありますが…。

高10回生 同窓会だより

高10回　吉　岡　道　夫

永らく続いたコロナ禍もやっとおさまり皆様も久し振りの旅行、お友達との会食などコロナ禍以前の生活に戻りつつあると思います。

我々 10期同窓会は2020年に計画していた同窓会が実施寸前でコロナ禍のため中止となりました。しかし昨年11月５日の清水谷高校創立120周年祝賀会開催の機を捉え、祝賀会終了後に近くのホテル〝アウィーナ大阪〟で10期同窓会を開催しました。東京からの10名を含め48名の同窓が集い親交、絆を深めることが出来ました。その場の参加者より出来るだけ早い機会に次回同窓会を計画してほしいとの強い要望が出され、幹事会で検討しました結果、2024年５月20日（月）に開催することに決めました。

場所ほか詳しい計画内容は来年２月か３月頃にご案内出来ると思いますので取り敢えず予定お願いします。皆様との再会を楽しみにしています。その日まで皆様くれぐれも健康に留意されお元気でお過ごし下さい。

東京地区同期会

高11回　吉　﨑　文　彦

11回生同期会は2000年に還暦の祝いを兼ねて帝国ホテルで実施したのがスタートです。その後観桜同期会として毎年４月に千鳥ヶ淵でお花見をした後近くのホテル「グランドアーク半蔵門」で開催。古希、喜寿、傘寿の節目の年は帝国ホテルで開催してきました。多い時には30名を超える集まりとなりましたが、コロナのお陰で2019年を最後に中断しています。年齢も80歳を超え参加者も少なくなり再開は困難な状況にあります。

そうした中で「あざみ野会」という地域懇談会を有志の間で年２回実施しています。この会は2013年に田園都市線「あざみ野駅」の近くに住む３名で気軽な昼食懇談会としてスタート。今年の１月には14回目を実施しました。参加者は年々少しずつ増え最近は10名ほどになっています。また女性の方が多く２時間ほどの昼食をとりながらのおしゃべり会ですが、高校時代は遠くから眺めていた美人達と身近に話が出来、大変楽しいひと時となっています。

「高12回生同窓会」が開催されました。

高12回E組　杉　野　利　彦

この欄でもご参加を呼び掛けました、学年の11回目の同窓会は昨年10月30日に開催されました。コロナ禍で延期を致しましたが、やっと開催出来、48名のご参加を頂きました。厚く御礼申し上げます。お伝えしております様に今回が最後となり、従来なら生じました剰余金は、次回に繰越すのですが、出来ませんので、準備委員全員で「清友会」に寄付（10万円）をし、残高をゼロとする事と致しました。この事をご報告すると共に、ご了承賜ります様、お願い申し上げます。なお、全体の同窓会は終りましたが、有志の方が、「幸齢者の会」をLINE形式で発足されました（連絡先等、詳細は各クラスの今回準備委員の方にお問合せ下さい）。また、Ｅ組のクラス会「清田会」は引き続き開催致します。

最後になりましたが、清水谷120周年行事へのご参加・ご寄付有難うございました。

13回生学年同窓会

高13回G組　佐　藤　恵巳子

隔年毎に開かれていた学年同窓会、コロナ禍の影響で延期を重ね、漸く令和４年11月24日開催できました。会場はKKR HOTEL OSAKA森ノ宮14階オリオン。

図らずも傘寿の会となったこの日、遠く福岡や広島、関東方面からも、そして大病をおして駆けつけて下さった方もあって、男性11名女性25名の総勢36名が集まりました。

乾杯に始まり、会食しながら各々のテーブルで会話が弾む中、声楽家湯浅富士郎さんが尺八を演奏。北国の春や花笠音頭等優しく美しい音色が皆の心を癒して場内に響き渡りました。

その後は、新美啓之さんの軽妙な司会に誘われて数名が各々の来し方や思いを披露。

締めはやっぱり校歌斉唱です。伴奏は日置英一さん。コロナ禍の巣ごもり生活の中、初めてキーボードに挑戦してこの難曲に取り組んだという、その心意気に共感して一同元気に歌い上げて和やかに閉会となりました。

次回は昭和100年（2025年）大阪万博の時はどうでしょう?という声も上がっています。

株式会社橋本総合鑑定
http://www.hashimoto-kantei.com/
代表取締役　不動産鑑定士
橋　本　一　志
（高34回）

〒541-0054
大阪市中央区南本町3丁目3番23号 インペリアル船場513号
TEL 06-6120-6633　FAX 06-6120-6622
E-mail：hashimoto@hashimoto-kantei.com

Suda Hajime CPTA Office
須田肇税理士事務所
税理士　須　田　肇
（高 23 回）
mail： suda.hajime.cpta.office@gmail.com
tel ： 06 - 7500 - 5722
hp： http://suda-zeimukaikei.com

卒業60周年！

高15回　小　川　佳　輝

若々しく輝いた笑顔が溢れていました。

卒業60周年記念同窓会は５月27日にＫＫＲホテル大阪で開かれました。

51名が参加して、大阪城を背景に賑々しく晴れやかな集まりになりました。

あちらこちらで顔を見つめて名札を見て「あっ！」と高校時代を思い起こして会話が弾んでいました。

残念ながら、高齢で外出困難や病気、看護などで参加が叶わなかった方々も大勢ありました。

校歌斉唱に始まり、恒例の高校三年生合唱で名残を惜しみつつお開きとなりました。

お陰様で、コロナ感染の中でしたが、参席頂いた皆様のご協力により、安全安心な同窓会となりました。ありがとうございました。お互いに健康で再会できることを願っています。

奈良佐保川の桜まつり

高19回　矢　野　　直

令和５年４月１日（土）、発起人大橋直隆くん（３年時Ｃ組 ラグビー部）の提案を受け、コロナ・ウィルスの亡霊に怯えながら、総勢８名で奈良佐保川の桜まつり見物、並びに平城宮跡散策、のハイキングを挙行、予報大ハズレの好天のもとまことに爽快な春の一日を過ごしました。行き交う人々の晴れやかな表情からは、かつての、『コロナ、第７波襲来！』のような戦々恐々の風景は嘘のようでした。

川には、花筏が流れ、堰まで来ると、それがまさに白い絨毯となっていました。すると、何やら青い光が走りました。それは、たしかに、翡翠でありました。

清流を　流れ下るや　花筏　　堰に架かる　白き絨毯　花筏
翡翠や　桜まつりの　汀翔び

古希学年同窓会を終え、そして…

高22回　和　田　雅　夫

昨年11月17日に古希記念の学年同窓会を開催しました。本来令和２年に開催予定も、コロナ禍で２度延期をし４年ぶりの開催となりましたが52名の方々が旧交を温めました。

特に今回は特別イベントとして同窓生による「アコードチター（弦楽器）」の演奏や「日舞」の披露等があり会場はその妙技に大きな拍手で盛り上がりました。

今後とも新代表幹事・広瀬安宏さんの元、同窓生の皆様のご支援・ご協力をお願い致します。

他方同窓会の翌12月21日、当学年同窓会の発起人である日根野文三君（前清友会・会長）が他界されました。同窓会への出席を強く希望されていましたが叶うことなく旅立たれました。仲間の事を思いやり、前向きな笑顔の日根野君が偲ばれます。改めて彼に感謝です。そして本当に残念です…。

『桜＊プロジェクト』

高34回　元　井　　眞紀子

令和５年３月吉日、桜３本と芝桜1,000株の植樹式を無事終えることができました。

この植樹プロジェクトは、昨年６月惜しくもご逝去された同回生の山田郁子様（旧姓辻坂様）からのご寄付により、『正門の桜が私達の頃より随分寂しくなったのでなんとかしたい』…という彼女のご遺志を受け継ぐ形で発足したものです。生前より清水谷愛がとても強く、清友会の活動にもご尽力下さり、何かと楽しい企画を考えて高34回生の絆をより深く繋いで下さった大切なキーパーソンの彼女…その彼女の思いは桜に乗って、正門をくぐる未来の友へエールを送り続けてくれることでしょう。

余談にはなりますが、植樹といっても簡単なものではありませんでした。何より土壌が良くなかったのですが、同回生の造園家監修のもと、桜は丈夫で長命なジンダイアケボノを選んでいただき、校長先生ご提案の宿根草の芝桜をグラウンドカバーにすることで、土壌にも良く、素晴らしい景観となりました。

これから毎年春が楽しみです。

「ようこそ谷町Classic」

高40回　三　島　由　佳

清水谷高校から程近い楓ギャラリーで毎年４月と12月クラシック音楽とアートのコラボコンサートを開催しています。企画・主宰は40回、元王立バンコク交響楽団チェリストの中川幸尚くんで私はこの谷町Classicの広報・マネジメント担当。中川くんは高校時代アンサンブル部で私は合唱部。近くにいながらほとんど話したことはなく卒業後に再会し一緒にお仕事することになりました。谷町Classicではクラシックやアートに馴染みのない方々も大歓迎！みなさんが思い思い自由に楽しんでいただけるよう気軽で身近なコンサートを目指しています。来年４月、スタートから10周年を迎えますが40回生を中心に卒業生の再会、交流の場ともなっています。高校でチェロに出会い主に海外で活動してきた中川くんが提案するプログラム、ぜひ聴きにいらしてくださいね。コンサート情報は楓ギャラリーHPに随時掲載しています。

ハンマー製造70年の歴史
作業工具と物流機器
オーエッチ工業株式会社
▼http://www.ohnet.co.jp/

〒578-0921　東大阪市水走4丁目9番3号
TEL(072)963-2221(代)　FAX(072)963-2226
代表取締役　清水義道（高10回）

社会福祉法人　しんもり福祉会
平　和　の　子　保　育　園
大阪市立　両国保育所（委託運営）
tel.06-6951-3083
留守家庭児童対策事業
平和の子　子どもの家
障がい児通所支援事業
らっこデイサービスセンター
tel.06-6954-5523
〒535-0022 大阪市旭区新森 7-1-5　tel.06-6954-0524　fax.06-6954-1961
理事長　松野五郎（高８回）
社会福祉士

バスケットボールOBOG会

バスケ部OBOGの皆様お元気にご活躍でしょうか？
皆様に愛される公式同窓会　清籠会は、なんと４年ぶり！に、賑々しく華々しく総会と懇親会を開催いたします！！
総会／懇親会　　日：2023年10月９日（月／祝）
（例年スポーツの日に総会／懇親会は開催。毎年ご予定確保ください）
場所：大成閣　http://taiseikaku.jp/　中央区東心斎橋
時間：16時00分受付～総会～懇親会　２時間飲み放題！
会費：男性6,000円！女性と30歳未満の男性、3,000円！
参加申し込み：ご案内ハガキへの返信もしくは、メールにて。
shimizudaniseiroukai@gmail.com

愛と青春の先輩後輩が、あなたをお待ちしています！
奮って参加してくださいね！

＃清籠会では、毎年ニューボールを新チームに贈呈しています。写真は今年の新チーム。
（会長　高26回　木下／事務局　高28回　三好）

ラグビー部OB会

ラグビー部OB会は高４回から高75回で約300名の卒業生で構成され、毎年夏に現役交流会およびOB総会を開催しています。新型コロナウィルス感染症（COVID-19）が感染症法上の分類で５類に引き下げられたことに伴い、今年度のOB総会・懇親会・現役交流会を、7月29日に３年ぶりに開催しました。現役のラグビー部員は、少子化の影響を受け、３年生２名（女子部員１名を含む）、２年生１名、１年生１名で活動しています。現役は公式戦には合同チームとして参加しており、今年度は４月に花園ラグビー場第３グランドでシード権獲得を目指して奮闘していました。OB会では現役生徒の活動が円滑に行えるように支援を行い、従前にも増し世代間を超えた縦の交流、世代内の横の交流を「スポーツ」を通じて行い、『プレーヤーセンタード』の理念に基づき、スポーツの場を提供して行きたく思います。
会長：中西修一（高24回）、事務局：山林右二（高24回）

清水谷ラグビー部OB会　令和５年７月29日撮影

硬式テニス部OB会

「フェスタ清友」実行委員会メンバー　髙木　文夫（高20回）
硬式テニス部ＯＢ会の伝統は、３回生に始まり、今年は75回生を迎えました。ただ、この３年は、コロナ禍でＯＢ会の行事が行えない状況でした。
今年は、
❶第57回平井・麹谷杯（旧　平井▶井上杯）とＯＢ総会は、中止になりました。
❷秋に、「団体戦」として、在校生とＯＢとの交流戦を予定しています。と聞いています。
❸10月１日「フェスタ清友」が予定されていますので、テニスコートを開放して頂き、「テニス教室」を軟式テニス部ＯＢ会と共同で開催する予定を立てています。
この３つの行事で、ＯＢの親睦と、現役諸君への援助を目的とした活動を続けています。

現役諸君の活動も、顧問先生方のご努力・ご尽力のお蔭で、ランクアップを目指すクラブに育っています。（清水谷高校のホームページをご覧下さい）現在、ＯＢ会も加藤　啓（高57回）会長を筆頭に、若い世代の方々が、お世話役の幹事を務めてくれていますので、伝統を今後も守り続ける様頑張って頂いています。ＯＢ会行事・フェスタ清友で、お待ちしております。是非清水谷高校へお越し下さい。
連絡先//髙木　文夫（高20回）takagi-f@trust.ocn.ne.jp
なお、今年より高44回の佐久間　正氏が「フェスタ清友」実行委員会メンバーに加わって頂きました。

写真は令和元年5月19日の第56回平井・井上杯です

硬式野球部OB会『清硬会』活動報告

令和４年11月12日に令和４年度の清硬会活動として「親睦ソフトボール大会」と「総会・懇親会」を開催しました。
気持ちのいい秋晴れの朝、母校グラウンドで、OB約20名が「チーム清硬会」を結成し、ソフトボールで現役部員に勝負を挑みました。現役チームはさすがのプレーでしたが、「チーム清硬会」は、年齢が上がるにつれ、ボールより笑いを取って対抗。ファインプレーと珍プレーの連続で、現役部員と楽しく交流ができました。
午後は、３年ぶりとなる「総会・懇親会」を、大阪上本町の杯杯天山閣にて開催し、約30名が集いました。会場のあちらこちらで、お互いの近況や思い出話などで盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。

これからも清硬会は楽しい行事を企画していきます。まだ会員登録をされていない硬式野球部OBの皆さん、是非こちらのメールアドレスまでご一報ください。seikoukai1984@gmail.com　　清硬会　高41回　寺島　潔

清水谷高校 上方落語研究部 清笑亭四天王

上方落語研究部ＯＢ会　今津（いまづ）　武治（たけじ）（高23回）
ここ数年は我が落研ＯＢも対面での寄合や活動の機会がなく残念に思っています。しかし、高23回生は不定期で顔を合わすことがあり、この４月に大阪梅田で集まりました。メンバーは当時「落研四天王」と（勝手に）称していた４人が中心ですが、落研に所属はしていなくても同期の落語好きのファンも含めて懇親を深めています。
落語等の披露は令和元年第15回「フェスタ清友」が最後で、その後は開催が自粛されていましたが、今年度は再開催に向けて進められていますので、落研ＯＢとしても、どのような内容等になるかは未定ですが協力していきたいと思っており、無事に開催されることを祈っています。

この４月に高23回「落研四天王」等が集まった時のものです。
右奥が今津（清笑亭 鯨）、左手前が荒川君（清笑亭 馬団治）、左奥が菊田君（清笑亭 喜楽）です。四天王の一人田中君（初代 清笑亭 小都枝）は今回都合で欠席でした。

文化講座　清友コーラス（月３回：土曜日午後）

訃報

行　昭一郎	先生	第13代校長	令和３年６月ご逝去
久米　俊之	先生	第16代校長	令和５年４月20日ご逝去
日根野　文三	様	清友会顧問・前会長	令和４年12月21日ご逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

清友のひろば

米寿のこと

高４回　高　川　　静

孫娘達が誕生祝いに筆者の生年月日の新聞のコピーを送ってくれた。

東京朝日新聞夕刊昭和９年１月10日号１面に京都驛惨事責任鐵道側は認めずとあり、死者77名重軽傷者74名の第三プラットホーム将棋倒し事故を伝えている。

「プラットホームにおける収容能力は断じて超過せず」京都驛當局は述べ、鐵道本省側においても「惨事の原因は見送りの大群衆の中へ入團者が後から押しよせたためであり、今後は切に入場者の自制を求むる外方法なし」となしてゐる等、原因に對する當局側の責任はこれを認めざる態度をとってゐるとある。

また、同紙面に在郷軍人会八萬の代表者代々木に集まる　宮城へ奉祝大行進が郷軍大会の壮観（代々木練兵場にて）の幅広な写真と共に出ている。

1935、６年の国防危険線を前に日本精神の作興と予備軍の意気を示す第一師團管下在郷軍人大會は前日午後から代々木練兵場で盛大に挙行された、東京府市、神奈川、千葉、埼玉、山梨の在郷将兵三十七萬の代表八萬余兵は意気揚々華やかに會旗を先頭に澁谷、富ケ谷、山谷、原宿の各入口から會場に参集、整列を終り、云々とある。

２面には日本新文明の開拓者福沢諭吉翁の遺徳を賛へる今日生誕百年記念日を迎へてと題した記事が出ている。

慶應義塾の創始者としても知られてゐる福沢諭吉先生は天保５年（1835年）大阪堂島生まれで今日はその百年生誕記念日に當たるので、大阪では盛大な祝典が催されるとある。翁は北浜の適塾で学ばれた大阪に縁の深い歴史上の人物である。

広告欄に臺北帝国大学農林専門部の募集要項が出ている。

今年中国は台湾周辺で大規模な軍事演習を始め演習弾が一部台湾上空を通過、日本の排他的経済水域内に着弾したとも報じられている。

朝日新聞社説は米国と中国の２大国が軍事力を動員して向き合う危ない事態であるとしている。米下院議長の台湾訪問がきっかけとなった。自らの力を過信して制御を失ったロシアの教訓を、米中は学ぶべきだ、緊張緩和に向けて、日本も「橋渡し役」の役割を十分に発揮すべきときだと社説は結んでいる。

昭和一桁は遠くなりけりと米寿にして思う。

日根野前会長に感謝

清友歩こう会　高15回　小川佳輝

日根野前会長の発案により歴史ウォークは始まりました。浪花・大和・京で通算54回巡りました。日根野前会長は体調が思わしくなく一度だけの参加でしたが多勢で楽しんでおります。清友歩こう会として、昨年度は11回開催し、90名の参加がありました。歴史に触れながら歩いて、各地で会食もしてきました。

京街道関目七曲がりで鰻、大津・逢坂の関で日本一の鰻、近江神宮で十割そば、そして、大神神社で冷やしそばと竹の子ご飯などを楽しみ好評でした。今後も楽しく美味しい企画を進めていきます。

改めて、此のような機会を生み出して頂いた日根野前会長には感謝しております。そして、日根野前会長に心から哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

今後は、９月９日、10月14日、11月18日、12月２日、３月９日、30日、４月6日、20日に大阪七福神巡りを軸に組んでいます。紅葉狩り、観桜会も開きます。

東期会の活動

高10回　岡　本　和　夫

10期生関東在住で構成する「東期会」の活動は、コロナのために中断していましたので、この報告も久しぶりとなりました。

新型コロナ新規感染者が減少傾向を示し始めた昨年10月末には、3年ぶりに清友会東京支部総会が開催されました。まだ、このような集まりに参加するには幾ばくかの躊躇はありましたが思い切って出席しましたら、何と全体では50人を超える参加があり、皆さん心待ちにされていたことが伺えました。我が東期会は4名の参加で、これまでの最多出席を誇っていた10期生も後進に道を譲ることとなり、出席者の中では最高齢となりました。

それでも久しぶりの支部総会では、後輩の皆さんとの再会ができ、お互いの元気を確認し合ったのでした。

また、昨年11月には、清水谷120周年記念祝賀会に参加し、新任された校長先生ともお話しできる機会があり、同期有志で検討してきた「清水谷をもっと魅力ある学校に」のことについても少し触れられたことはエポックでした。祝賀会終了後に開催された「10期会」にも出席し、東期会からの出席者10人を含めて総勢50人の懇親会となり、コロナで中断されたこの会での懐かしい再会はマスクも外して歓談に盛り上がったのでした。

「清水谷をもっと魅力ある学校に」の検討は、一昨年11月から、zoom会議を利用して検討を始め、今年3月21日には、５回目のオンライン会議で、清友会会長他幹部の皆さんをも含め一定の結論に到達でき、これを整理して清友会会長、校長先生にご報告をしたのです。

このオンライン会議は、蓼科浪漫倶楽部第２ステージを発足し、その第１回を東京晴海のトリトンスクエアで開催したばかりの頃、コロナで会うことができなくなってしまいましたが、リアルが無理ならオンラインでということで「ウエブサロン」との名で始まったのです。そして、オンラインだと東京、大阪の地理的障害は無縁となる利点があり、手軽に頻繁に開催することができるとの味も会得したのです。現時点迄でこの「ウエブサロン」は12回を数えています。

ウエブサロン（12）（2023.3.31）

東期会 春の集い
「自由学園明日館」にて（2023.5.18）

そして今年5月18日には、待ちに待った「東期会 春の集い」を、池袋にある『自由学園明日館』で開催しました。1921年に「詰込みでなく自由に学ぶ」を理念に設立された女学校です。有名な建築家ライトの設計による建物で、すでに学校は移転していますが、校舎は1997年に国の重要文化財に指定され「動態保存」とされています。学内を見学し、教室を貸し切ってみんなで昼食を共にしてゆったりと歓談することができました。

コロナも５類に移行しましたから、これまでよりも自由に再会することが可能となり、また、オンラインの「ウエブサロン」も距離を超越して気軽に開催できる知恵も得ましたので、今後はさらに範囲を広げるなどして活動を展開して行きたいと考えています。

会える時にあいましょう！元気なうちにあいましょう！と東期会の皆さんは積極的に行事に参加しています。

2023/06/10

清友幼稚園だより

高22回　伊　藤　恵美子

コロナに翻弄されて無我夢中のうちに３年が過ぎました。

昨年度から始まった２歳児保育も順調で、今年も６名が入園し、満３歳児26名、年少組74名、年中組82名、年長組82名で、４学年合わせ270名の園児が元気に通ってきています。

コロナによって、今まで長く続けてきたいろんな行事や保育そのものが、中止・変更・延期を余儀なくされましたが、改めて見直すよい機会になったようにも思います。疑問を感じることなく長年繰り返してきたことも、ここを変えてみようとか、この部分は止めて中身の濃いものにしたらどうか、など教員からいろんな意見が出され、かなり新鮮ですっきりしたかなと感じることが多くなりました。

そのような中、自然に恵まれた園庭は四季折々に表情を変えながら、何が起ころうとも子どもたちを包み込み温かく見守る素晴らしい居場所であり続けています。

学校法人清友学園　認定こども園
清友幼稚園
理事長　鳥井　敏孝（高22回）　園長　伊藤恵美子（高22回）
令和６年度　園 児 募 集
２歳児６名　満３歳児 20 名　３歳児 80 名　４・５歳児　若干名
URL：http://www.seiyu-youchien.jp/
所在地：〒581-0022　八尾市柏村町１－５７
（近鉄大阪線　高安駅より南西　650m）
問い合わせ：TEL 072-922-2023　FAX 072-922-2035

事務局だより

個人情報保護について

プライバシーポリシーについて（個人情報保護方針）
清友会は高度情報通信社会における個人情報保護の重要性を認識し個人情報の保護に努めます。

◎全会員の名簿はプライバシー保護のため発行しておりません。各回生で名簿が必要な場合は回生幹事を通じて、原簿「コピー」または「宛名シール」を頒布いたします。その際、個人情報保護法に則り使用目的に関する誓約書の提出をお願いします。

◎**住所・氏名の変更ご逝去等**がございましたら同封の葉書またはFAX・Eメールにて事務局または回生幹事までご連絡下さい。（留守番電話は不可）ホームページからでも可能です。

◎**回生幹事の変更**があれば事務局までご連絡下さい。

◎**「済美館」のご利用や母校見学**については事務局までご相談下さい。

お問い合わせ先　清友会事務局　火・金曜日　10時～ 16時（担当：厚見彰子）
TEL 06-6768-4159　FAX 06-6770-5015
Eメール seiyukai@carrot.ocn.ne.jp
ホームページ https://dousoukai.site/seiyukai/

メールアドレスの登録にご協力下さい！

パソコンから 清友会 検索
スマホから

社会のＩＴ化・ペーパーレス化が進み、清友会でも今後はメールでのご連絡・お知らせが多くなると考えられます。ついては皆様のメールアドレスの登録をあらためてお願い申し上げます。
登録はパソコンまたはスマホからホームページお問い合わせフォームにお願いします。「件名：メールアドレスの登録」をご選択下さい。お手数おかけしますが何卒よろしくお願い申し上げます。

年会費（¥2,000）納入と賛助金にご協力下さい！

年会費は済美館の維持管理、会報の発行、母校支援等に必要不可欠な財源です。本来、会の運営は年会費によって賄われるべきところですが資金的に充分な状況ではありません。会費収入を補完すべく「賛助金」制度を実施しております。会員の皆様におかれましては年会費の納入と賛助金へのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

クレジットカード決済もご利用いただけます

QRコードを読み取るか、下記アドレスにアクセスしてください。
クレジットカード決済をご利用いただけます。
https://salat.club/seiyukai/

年会費の払込方法は、『スマホ決済』『コンビニ支払い』『郵便局支払い』の３通りあります。
コンビニまたは郵便局でお支払いの場合は、「払込取扱票」をご使用ください。

年会費は スマホ決済 ができます

※詳細は振込用紙裏面をご覧下さい。

PayPay　LINE Pay　au PAY　Pay B　が使えます。

記念誌・記念グッズ販売中

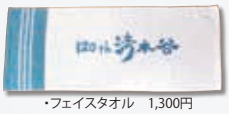
☆ 記　念　誌

120周年を記念して記念誌を発行致しました。110周年記念から10年間の母校の出来事とともに、今回、明らかになった様々な歴史的事実を記しています。
タイトル　「清水谷120年 明治から令和 そして未来の友へ」
仕様形態　A4サイズ、120頁、無線綴じ　　**発行部数**　3,500部
価　　格　1,500円

☆ 記 念 グ ッ ズ

・Tシャツ（M　L　LL）　1,500円

・トートバッグ　1,000円



・フェイスタオル　1,300円

・ハンドタオル　800円

記念グッズの販売について
記念グッズ・記念誌は事務局または総会等で販売いたします。
郵送での購入をご希望の方は次の方法でお申込み下さい。
①清友会ホームページ。お問い合わせフォームにご入力下さい。
②清友会事務局へEメール（seiyukai@carrot.ocn.ne.jp）
③清友会事務局へFAX（06-6770-5015）
いずれの方法も、回生・氏名・ご希望の品名、点数をご記入下さい。
折り返し代金をお知らせします。ご入金確認後に配送いたします。
☆送料について：２点毎に全国一律300円です。大量のご購入の場合は事務局へご相談下さい。
☆代金のお支払いは下記銀行口座へお振込み下さい。必ずご氏名の前に回生のご入力をお願いします。振込手数料はご負担下さい。
三井住友銀行難波支店　普通預金 6992035　　清友会　須藤隆二

・パスケース　600円

フェスタ清友
～ホームカミングデー～

令和５年10月１日（日）　10時～16時
４年ぶりに開催いたします。どうぞお気軽に懐かしい学び舎にお越しください！

ボールゲームフェスタ　10時～ 12時
～どなたでもご自由にご参加下さい～

☆体育館	バレーボール
☆１階小体育館	卓　球
☆テニスコート	テニス（硬式・軟式）

フェスタ清友　13時～ 16時
☆１階小体育館

◎クラブ活動報告	13時～
◎演奏会（チェロ）	14時～
◎落　語	15時～

特に催しに参加しなくても構いません。懐かしい正門や校内にふらっと立ち寄るだけでも大丈夫です。済美館資料室に思い出の写真があるかもです！

※その他内容については随時ホームページでお伝えいたします

会報編集担当：高34回 楠　充喜、中塚友規子、吉田恭二、高35回 金原孝子、高50回 岩田　徹